TOSHIBA

dynabook
図解で読むマニュアル

- 音楽を聴く
- オリジナル音楽CDを作る
- データCDを作る
- DVDの映画や映像を観る
- デジタルカメラの写真を編集する
- 写真を見やすく整理する
- 映像を編集してDVDに残す
- テレビを見る／番組を録画する
- 文書や表、メールを作る
- サイバーサポートを使う
- パソコンの基本操作を学習する
- プロバイダの問い合わせ先
- アプリケーションの問い合わせ先

もくじ

記載について

・本書に記載している画面やイラストは一部を省略したり、実際の表示とは異なる場合があります。
・［スタート］メニューやデスクトップ、フォルダなどの内容は、お客様の使用状況により、本書と実際の表示とが異なる場合があります。

著作権について

はじめに

本製品を安全に正しくお使いいただくために重要な事項が、同梱の冊子『安心してお使いいただくために』に記載されています。本製品をお使いになる前に必ずお読みください。
本書では、次の決まりに従って書かれています。

記号の意味

お願い	データの消失や、故障、性能低下を起こさないために守ってほしい内容、仕様や機能に関して知っておいてほしい内容を示します。必ずお読みください。
メモ	知っていると便利な内容を示します。
参照	このマニュアルや他のマニュアルへの参照先を示します。 このマニュアルへの参照の場合 …「 」 他のマニュアルへの参照の場合 …『 』

用語について

本書では次のように定義します。

Office Personal 2003 ………………Microsoft® Office Personal Edition 2003 を示します。
Word 2003 ……………………………Microsoft® Office Word 2003 を示します。
Excel 2003 ……………………………Microsoft® Office Excel 2003 を示します。
Outlook 2003 …………………………Microsoft® Office Outlook® 2003 を示します。
ドライブ………………………………………DVDスーパーマルチドライブ／DVDマルチドライブ／DVD-R/-RWドライブ／DVD-ROM&CD-R/-RWドライブを示します。
内蔵されているドライブはモデルによって異なります。
参照 ドライブについて『応用にチャレンジ 1章 本体の機能』
DVDスーパーマルチドライブモデル ……DVDスーパーマルチドライブが内蔵されているモデルを示します。
DVDマルチドライブモデル ……………DVDマルチドライブが内蔵されているモデルを示します。
DVD-R/-RWドライブモデル ……………DVD-R/-RWドライブが内蔵されているモデルを示します。
Office搭載モデル ………………………Microsoft® Office Personal Edition 2003がプレインストールされているモデルを示します。
TVチューナ内蔵モデル …………………TVチューナが内蔵されているモデルを示します。
TVチューナボックス同梱モデル ………TVチューナボックスが同梱されているモデルを示します。

Trademarks

音楽を聴く

ビート ジャム フォー トウシバ
BeatJam for TOSHIBA

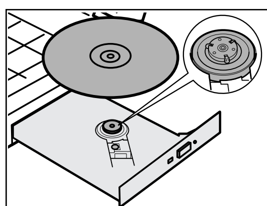


音楽を聴くには、「BeatJam」を使います。音楽CDを聴く以外にも、音楽ファイルを作ったり、好きな音楽ファイルをまとめて1つのリストを作ることもできます。

音楽CDを聴く

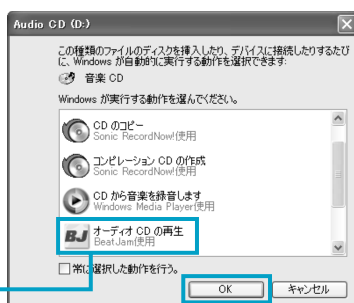
ここでは、音楽CDを聴く方法を説明します。ドライブに音楽CDをセットするだけで、「BeatJam」を起動することができます。

1 ドライブに音楽CDをセットする



2 操作の目的を選択する

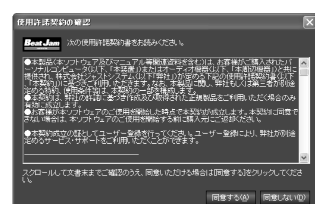
［オーディオCDの再生 BeatJam使用］が表示されていない場合は、▼をクリックして表示してください。



① ［オーディオCDの再生 BeatJam使用］をクリック

② ［OK］ボタンをクリック

【初めて起動したとき】



［使用許諾契約の確認］画面が表示されます。使用許諾契約に同意のうえ、［同意する］ボタンをクリックしてください。

音楽ファイルを作る／聴く

ここでは、音楽CDの曲をパソコンに録音して、音楽ファイルを作る方法を説明します。音楽ファイルを作ったら、そのファイルを再生してみましょう。あらかじめ、ドライブに音楽CDをセットしておいてください。

1 音楽CDから録音する曲を選択する

① ［CD］ボタンをクリック
CDパネルが表示されます。



② 録音する曲をチェックする
録音しない曲はチェックをはずしてください。

③ ［録音］ボタンをクリック



音楽CDの曲がパソコンに録音され、音楽ファイルの作成が始まります。

ここで、アルバムタイトルやアーティスト名などを設定することもできます。

3 音楽を聴く



曲は、「Track（トラック）」と表示されます。

「BeatJam」が起動しなかったときは、[スタート] → [すべてのプログラム] → [JUSTSYSTEMアプリケーション] → [BeatJam] → [BeatJam] をクリックしてください。

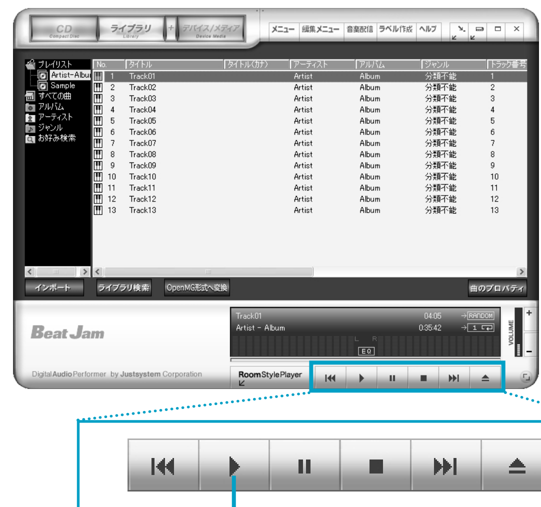
音楽ファイルの作成が完了すると、メッセージが表示されます。[閉じる] ボタンをクリックしてください。



① [閉じる] ボタンをクリック

2 音楽ファイルを再生する

ライブラリパネルが表示されます。作成した音楽ファイルは、ライブラリパネルで再生できます。



① [再生] ボタンをクリック

これで再生できました。

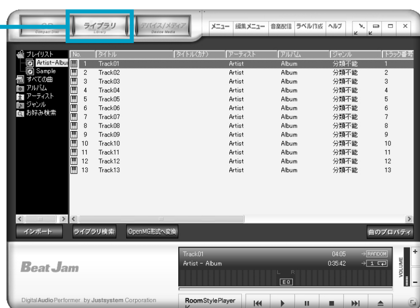
メモ

- 「BeatJam」では、MP3ファイルの再生は可能ですが、MP3形式のデータを作成することができません。
- 音楽CDの曲情報をGracenote CDDBから取り込むことができます。Gracenote CDDBについては、「BeatJam」のヘルプを確認してください。Gracenote CDDBは、ユーザ登録しないと使用できません。

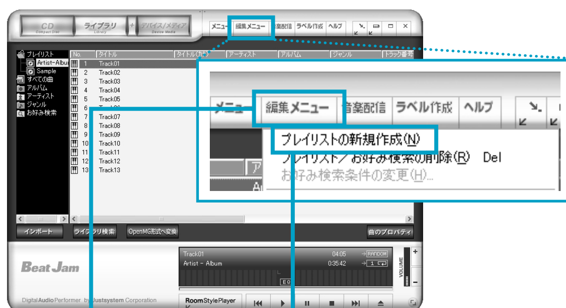
自分だけの演奏リスト（プレイリスト）を作る

ここでは、プレイリストを作る方法を説明します。音楽ファイルを好きな順番に並べて1つにまとめたものを「プレイリスト」といい、自分だけの演奏リストを作ることができます。

1 ［ライブラリ］ボタンをクリックする



2 プレイリストを作る



① ［編集メニュー］をクリック
② ［プレイリストの新規作成］をクリック

CDパネルの操作画面

ここでは、CDパネルの操作画面について説明します。

切り替えボタン
表示パネルを切り替えます。



ライブラリパネル
「BeatJam」で管理している曲を一覧できます。プレイリストを作るときなどに使います。

CDパネル
音楽CDを聴く／音楽CDから曲を録音するときに使います。

メニュー
「BaetJam」の各操作を行うことができます。

編集メニュー
現在編集しているパネルに関するメニューが表示されます。



ヘルプ
「BeatJam」のヘルプを表示します。

音楽配信
音楽配信サイトを紹介するホームページが表示されます。

ミニプレイヤー
操作ボタンや音量調節など、音楽を聴くための機能を集約した画面です。 をクリックするとミニプレイヤーに切り替わります。



操作ボタン
再生操作を行います。

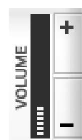
停止
一時停止
再生

次の曲
再生する曲を1つ進めます。



RoomStyleプレイヤー
画面全体に表示されたムービーを楽しみながら音楽を聴くことができます。

頭出し／前の曲
再生中の曲の頭出し、または曲を1つ戻します。



音量を調整します。＋ボタンをクリックすると音量が大きくなり、－ボタンをクリックすると小さくなります。

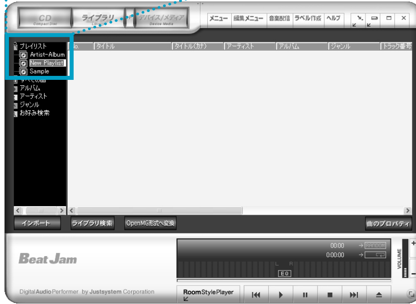
3 プレイリストに名前をつける



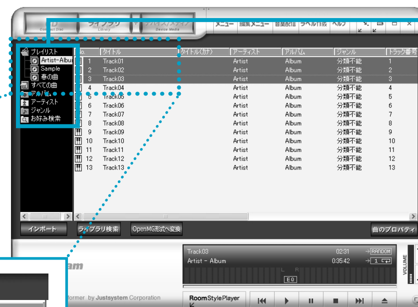
［New Playlist］という新しいプレイリストが追加されます。［New Playlist］の名前は変更できます。
キーボードから、名前を入力してください。



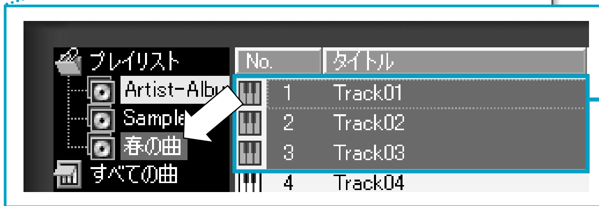
名前が変更されます。
ここでは「春の曲」と入力しました。
プレイリスト名を変更したいときは、プレイリスト上で右クリックし、表示されたメニューの［名前の変更］をクリックしてください。



4 プレイリストに曲を追加する



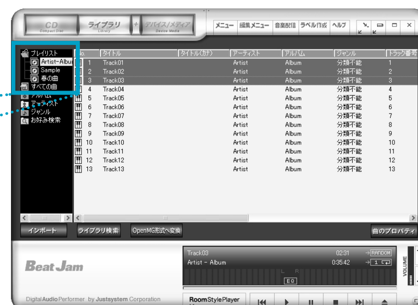
① 新規作成したプレイリストに追加したい曲が入っているプレイリストをクリック
ここでは［Artist-Album］をクリックします。



② 追加したい曲を選択し、新しいプレイリスト（［春の曲］）にドラッグアンドドロップ

曲を複数選択したいときは、Shiftキーを押したまま曲をクリックします。

5 プレイリストが完成





新しいプレイリスト（［春の曲］）をクリックして、曲が追加されたことを確認しましょう。

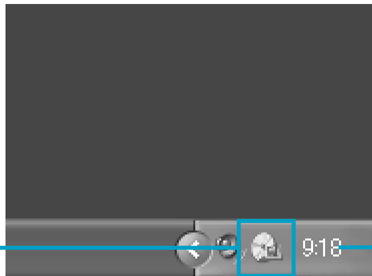


・音楽を聴くアプリケーションとして、「Windows Media Player」も用意されています。「Windows Media Player」についての詳細は、『ヘルプとサポート』を確認してください。
・リモコンが同梱されているモデルでは、リモコンを使って再生操作を行うことができます。詳細は『応用にチャレンジ』を確認してください。

ドライブの動作音を小さくする

音楽CDを楽しんでいるときに、ドライブの動作音が気になるときは、「CD/DVD静音ユーティリティ」を使ってみましょう。ドライブの回転速度をおさえ、動作音を小さくします。

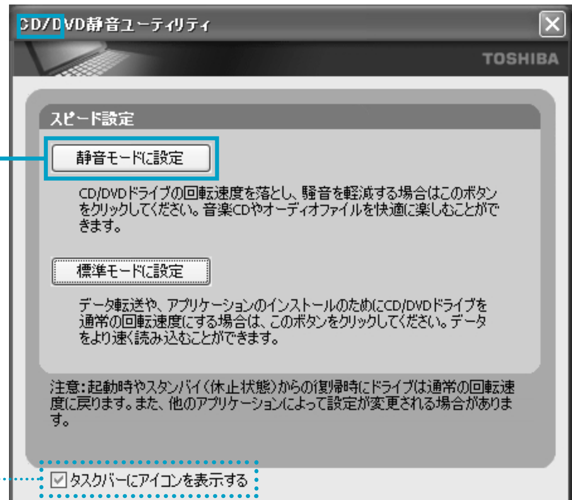
1 ［CD/DVD静音ユーティリティ］アイコンをダブルクリックする



通知領域

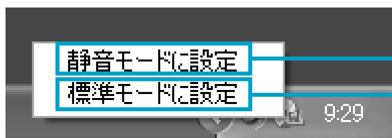
［タスクバーにアイコンを表示する］のチェックをはずすと、通知領域のアイコン（　）が消えます。
この場合、「CD/DVD静音ユーティリティ」を起動するには、［コントロールパネル］→［パフォーマンスとメンテナンス］→［　CD/DVD静音ユーティリティ］をクリックします。
通知領域にアイコン（　）をもう1度表示するには、［タスクバーにアイコンを表示する］をチェックしてください。

2 ［静音モードに設定］ボタンをクリックする



画面が閉じて、静音モードに設定されます。
これでドライブの動作音が小さくなります。

通知領域の［CD/DVD静音ユーティリティ］アイコン（　）を右クリックし、表示されたメニューから、モードを選択することもできます。



「静音モード」に設定したいときにクリック
「標準モード」に設定したいときにクリック



音楽CDを聴き終わった後は、「標準モード」に設定し直してください。
「静音モード」に設定しているとCDの読み出し速度が遅くなるため、「標準モード」よりもCDの読み出しに時間がかかります。

「静音モード」に設定しても、次のような場合は、「標準モード」に切り替わります。
・ システムを再起動したとき
・ スタンバイ、休止状態から復帰したとき
・「RecordNow!」でCD/DVDの書き込み／編集を行うとき
・ CD速度を設定するアプリケーションを使用したとき

【「BeatJam」の問い合わせ先】

●ユーザー登録に関するお問い合わせ
ユーザー登録ご相談窓口
TEL　：東京　03-5412-2624
　　　　大阪　06-6886-2624
受付時間　：平日　10:00〜19:00
　　　　土・日・祝日　10:00〜17:00
　　　　＊特別休業日を除く
ホームページ：http://www.justsystem.co.jp/service/

●製品の使い方に関するお問い合わせ
ジャストシステムサポートセンター
＊ サポートセンターへのお問い合わせの際には、お客様のUser IDおよび製品のシリアルナンバーが必要です。
TEL　：東京　03-5412-3980
　　　　大阪　06-6886-7120
受付時間　：平日　10:00〜19:00
　　　　土・日・祝日　10:00〜17:00
　　　　＊特別休業日を除く
ホームページ：http://support.justsystem.co.jp/

オリジナル音楽CDを作る

RecordNow! for TOSHIBA
（レコード　ナウ　フォー　トウシバ）



オリジナルの音楽CDを作るには、「RecordNow!」を使います。パソコンに音楽CDから曲を取り込んで、好きな曲を1つのCDにまとめることができます。

オリジナル音楽CDを作るには、CD-RW、CD-Rを使います。



お願い　RecordNow!を使うために

【CD/DVDに書き込む前に】

CD/DVDに書き込みを行うときは、Windows標準のライティング機能や市販のライティングソフトウェアは、使用しないでください。
CD/DVDに書き込みを行うときは、次の注意をよく読んでから使用してください。守らずに使用すると、書き込みに失敗するおそれがあります。また、ドライブへのショックなど本体異常や、メディアの状態などによっては処理が正常に行えず、書き込みに失敗することがあります。

- CD/DVDに書き込むときには、それぞれの書き込み速度に対応したメディアを使用してください。また、推奨するメーカのメディアを使用してください。

  参照 使用できるメディアについて 『応用にチャレンジ 1章 本体の機能』

- バッテリ駆動で使用中に書き込みを行うと、バッテリの消耗などによって書き込みに失敗するおそれがあります。必ずACアダプタを電源に接続してご使用ください。
- 書き込みを行うときは、本製品の省電力機能が働かないようにしてください。また、スタンバイや休止状態を実行しないでください。

  参照 省電力機能について『応用にチャレンジ 4章 バッテリ駆動』

- 次に示すような、ライティングソフトウェア以外のソフトウェアは終了させてください。
  ・スクリーンセーバ
  ・ウイルスチェックソフト
  ・ディスクのアクセスを高速化する常駐型ユーティリティ
  ・モデムなどの通信アプリケーション など
  ソフトウェアによっては、動作の不安定やデータの破損の原因となります。
- SDメモリカード、PCカードタイプのハードディスクドライブ、USB接続などのハードディスクドライブなど、本製品の内蔵ハードディスク以外の記憶装置にあるデータを書き込むときは、データをいったん本製品のハードディスクに保存してから書き込みを行ってください。
- LANを経由する場合は、データをいったん本製品のハードディスクに保存してから書き込みを行ってください。
- 「RecordNow!」を使用してDVD-Video、DVD-Audioを作成することはできません。

【書き込み／削除を行うにあたって】

- タッチパッドを操作する、ウィンドウを開く、ユーザを切り替える、画面の解像度や色数の変更など、パソコンの操作を行わないでください。
- パソコン本体に衝撃や振動を与えないでください。
- 書き込み／編集作業中は、次の機器の取り付け／取りはずしを行わないでください。
  PCカード、USB対応機器、外部ディスプレイ、テレビ、i.LINK対応機器、SDメモリカード、メモリースティック、パラレルコネクタに接続する機器、テレビ
- パソコン本体から携帯電話、および他の無線通信装置を離してください。
- 重要なデータについては、書き込み終了後、必ずデータが正しく書き込まれたことを確認してください。



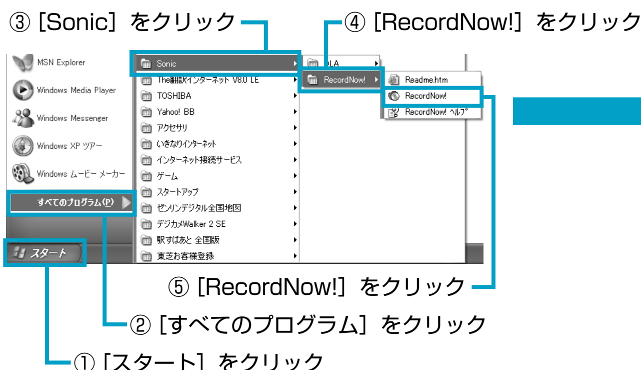
メモ

・CD-RWは、再生機器によっては、再生できないことがあります。

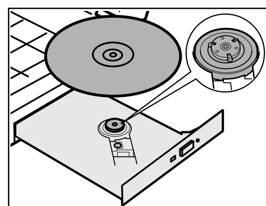
オリジナル音楽CDを作る

ここでは、既成の音楽CDから、曲をいったんパソコンに取り込み、その後CD-Rに書き込んで音楽CDを作る方法を説明します。

1 起動する



2 ドライブに音楽CDをセットする



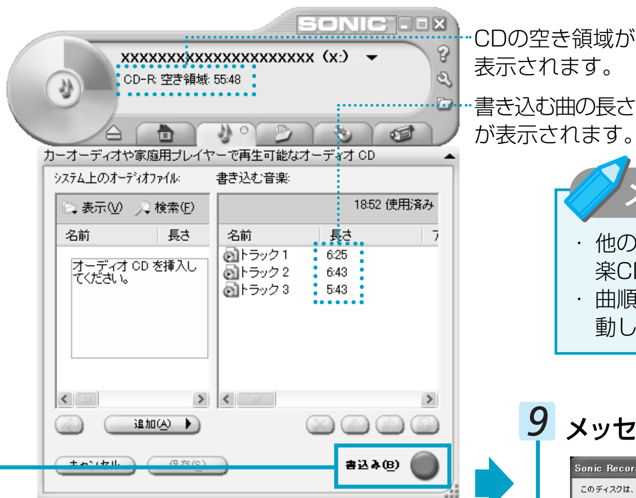
音楽CDをセットした後に、［Audio CD］画面が表示された場合は、［キャンセル］ボタンをクリックしてください。



準備が終了すると、［書き込む音楽］に選択した曲が表示されます。

7 ドライブから音楽CDを取り出し、未使用のCD-Rをセットする

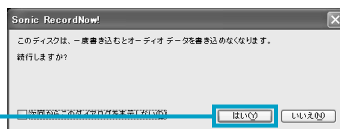
8 ［書込み］ボタンをクリックする



メモ

- 他の音楽CDからも取り込みたい場合は、ここで音楽CDを入れ替え、手順5～6を繰り返します。
- 曲順を入れ替えた場合には、トラックを選択して移動したい位置へドラッグアンドドロップします。

9 メッセージを確認し、［はい］ボタンをクリックする

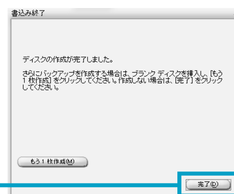


書き込み中は、次の画面が表示されます。



CDの書き込みが終了すると、ドライブのディスクトレイが自動的に開きます。

10 ［完了］ボタンをクリックする



メモ

さらに同じ内容のCDを作りたい場合は、ドライブに未使用のCD-Rを入れ替えて、［もう1枚作成］ボタンをクリックしてください。

3 ［オーディオ］タブをクリックする



4 ［カーオーディオや家庭用プレイヤーで再生可能なオーディオCD］をクリックする



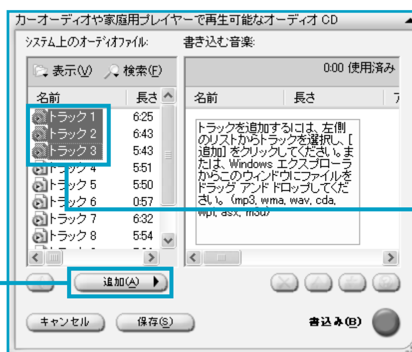
5 ［ドライブ］を選択する



① ［表示］をクリック

② ［ドライブ］をクリック

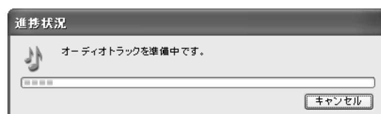
6 書き込みたい曲（トラック）を選択する



① 曲を選択する

曲は、「トラック」と表示されます。曲を複数選択したい場合は、Ctrl キーを押したまま目的の曲をクリックしてください。

② ［追加］ボタンをクリック



選択した曲を、いったんパソコンのハードディスクに取り込みます。取り込みの進捗状態が表示されます。

ヘルプの起動方法

「RecordNow!」についての詳細は、ヘルプを確認してください。起動方法は、次のとおりです。

1 ［スタート］→［すべてのプログラム］→［Sonic］→［RecordNow!］→［RecordNow!ヘルプ］をクリックする

【「RecordNow!」の問い合わせ先】

ソニックサポートセンター

TEL　：03-5232-6400

受付時間　：10:00～12:00、13:00～17:00

（土・日・祝祭日・年末年始を除く）

RecordNow!に関するお問い合わせは、ソニック・ソリューションズのサポートページのサポートフォームより質問内容をお送りください。

ホームページ：http://www.sonicjapan.co.jp/support/index.html

ユーザー登録は以下のページで行ってください。

ホームページ：http://www.sonicjapan.co.jp/register/register.html

データCDを作る

RecordNow! for TOSHIBA



パソコンに取り込んで編集した画像など、容量の大きいデータをCD/DVDに書き込むには、「RecordNow!」を使います。「デジカメWalker 2 SE」で編集した画像をCD/DVDに書き込んで知り合いに配ったりするのにも便利です。

参照 デジカメWalker 2 SE　P14「デジタルカメラの写真を編集する」

＊DVDへの書き込みができるのは、DVDスーパーマルチドライブモデル、DVDマルチドライブモデル、DVD-R/-RWドライブモデルのみ

データCDを作る

ここでは、パソコンに保存されているデータをDVD-R/CD-Rに書き込んで、データCDを作る方法を説明します。

1 あらかじめ書き込みたいデータを用意しておく



メモ

CD-R、CD-RWなどにデータを書き込んだ場合、そのデータは書き込み不可になっている場合があります。データを使うときには、1度ハードディスクドライブなどにコピーしてからそのデータを右クリック→［プロパティ］で、［読み取り専用］のチェックをはずしてください。

2 起動する





お願い　データCDを作るにあたって

＊データCDを作るには、下記以外にもお願い事項があります。P7「オリジナル音楽CDを作る-RecordNow!を使うために」と合わせてご覧ください。使用できるメディアについては、『困ったときは 2章 3 CD/DVDにデータのバックアップを取る』の「RecordNow!」に当てはまる部分をご覧ください。

【書き込む前に】

- 「RecordNow!」を使用してDVD-RAMにデータを書き込むことはできません。
- DVD-R、DVD+Rにデータを追記した場合、そのDVD-R、DVD+Rを他のパソコンやドライブで読もうとしたとき、OSやドライブの制限により、記録されているすべての内容を読み出せないことがあります。Windows 98SE＊1、WindowsMe＊2などの16ビット系OSではDVD-R、DVD+Rメディアに追記されたデータを読むことはできません。Windows NT4.0＊3ではService Pack 6以降、Windows 2000＊4ではService Pack 2以降が必要です。また、DVD-ROMドライブ、マルチドライブの種類によっては追記したデータを読むことができないものがあります。

【書き込み／削除を行うにあたって】

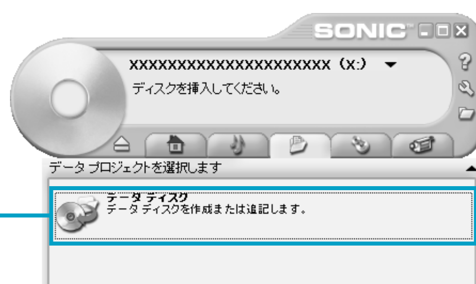
- 「RecordNow!」で、重要なデータを書き込む場合は、次の設定を行ってください。正常に書き込まれていることを確認できます。
  ①「RecordNow!」を起動し、画面右上の［オプション］ボタン（ ）をクリックする
  　［オプション］画面が表示されます。
  ② 画面左側の一覧の［データ］をクリックする
  ③［データオプション］の［書込み後、ディスクに書き込まれたデータをベリファイする］をチェックする
  ④［OK］ボタンをクリックする

＊1 Microsoft® Windows® 98 SECOND EDITION operating system日本語版を示します。
＊2 Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system日本語版を示します。
＊3 Microsoft® Windows NT® Workstation4.0 operating system日本語版を示します。
＊4 Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system日本語版を示します。

3 ［データプロジェクト］タブをクリックする



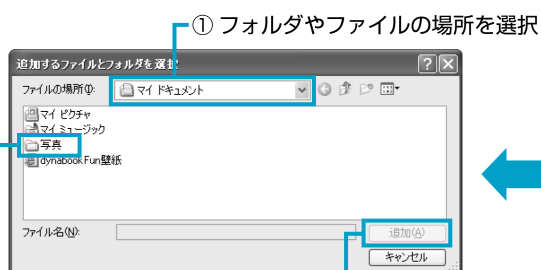
4 ［データディスク］をクリックする



5 ［フォルダとファイルを追加］をクリックする



6 書き込みたいフォルダやファイルを指定する

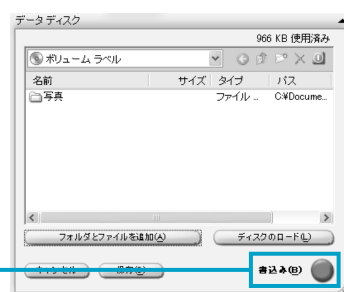




選択したフォルダやファイルが表示されます。

7 未使用のDVD-R、CD-Rをドライブにセットする

8 ［書込み］ボタンをクリックする

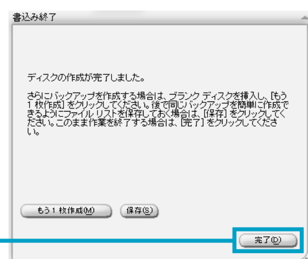


書き込み中は、次の画面が表示されます。



CD/DVDへの書き込みが終了すると、ドライブのディスクトレイが自動的に開きます。

9 ［完了］ボタンをクリックする



メモ

「RecordNow!」の問い合せ先については、P9を参照してください。

DVDの映画や映像を観る

InterVideo（インタービデオ） WinDVD（ウィンディーブイディー）™ 5 for（フォー） TOSHIBA（トウシバ）

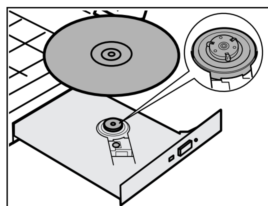


DVDの映画や映像を観るには、「InterVideo WinDVD」を使います。本製品では、DVD-Videoの再生ができます。

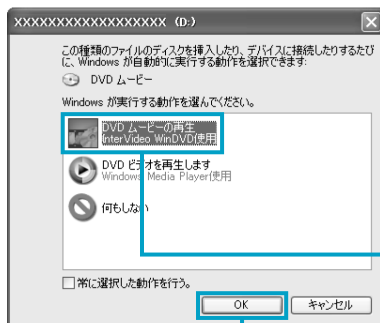
DVDを観る

ここでは、DVDの映像を観る方法を説明します。

1 ドライブにDVDをセットする



2 起動するアプリケーションを選択する



① [DVDムービーの再生 InterVideo WinDVD使用］をクリック

② [OK］ボタンをクリック

「InterVideo WinDVD」が起動しなかった場合は、［スタート］→［すべてのプログラム］→［InterVideo WinDVD］→［InterVideo WinDVD］をクリックしてください。



お願い　DVD-Videoの再生にあたって

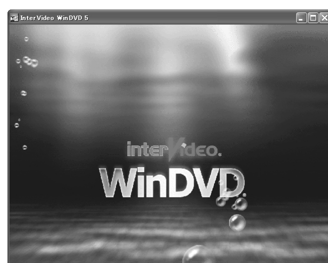
- DVD-Videoの再生には、「InterVideo WinDVD」を使用してください。「Windows Media Player」やその他市販ソフトを使用してDVD-Videoを再生すると、表示が乱れたり、再生できないことがあります。このようなときは、「InterVideo WinDVD」を起動し、DVD-Videoを再生してください。
- DVD-Video再生ソフト「InterVideo WinDVD」は、Video CD、Audio CD、MP3の再生はサポートしていません。
- DVD-Video再生時は、なるべくACアダプタを接続してください。省電力機能が働くと、スムーズな再生ができないことがあります。バッテリ駆動で再生するときは「東芝省電力」で「DVD再生」プロファイルに設定してください。
- DVD-Videoを再生する前に、他のアプリケーションを終了させてください。また、再生中には他のアプリケーションを起動させたり、不要な操作は行わないでください。
  再生中に、常駐しているプログラムの画面やアイコンなどがちらつくときは、「InterVideo WinDVD」を最大表示にしてください。
- DVD-Videoの再生はRegion（リージョン）コード「2」、「ALL」のものをご使用ください。
- 外部ディスプレイまたはテレビに表示するときは、再生する前にあらかじめ表示装置を切り替えてください。また、マルチモニタ（内部液晶ディスプレイと外部ディスプレイまたはテレビの同時表示）の設定では、外部ディスプレイまたはテレビに表示するための設定が必要です。
  内部液晶ディスプレイと外部ディスプレイにClone表示をしているときDVD-Videoを再生すると、画像がコマ落ちすることがあります。この場合は表示解像度を下げるか、内部液晶ディスプレイまたは外部ディスプレイのみに表示するか、拡張表示に設定してください。

  参照 表示装置の切り替え『応用にチャレンジ 3章 周辺機器の接続』

その他の注意については、「Readme」に記載しています。
「Readme」の起動は、［スタート］→［すべてのプログラム］→［InterVideoWinDVD］→［readme1st.txt］をクリックしてください。

3 「InterVideo WinDVD」が起動する

メインウィンドウ



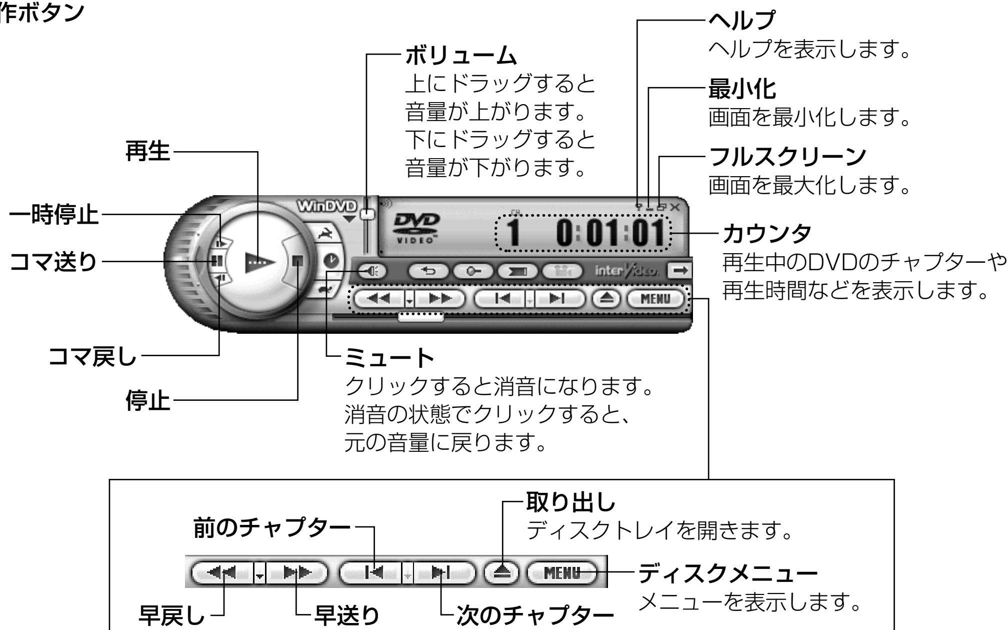
メインウィンドウとWinDVDコントロールパネルが表示されるので、操作ボタンを使ってDVDの映像（DVD-Video）を観ましょう。



- 本製品で再生できるのは、DVD-Videoです。Video CDとは異なります。DVDが入っていたパッケージやDVDの盤面に「DVD-Video」と記載されていることを確認してください。
- リモコンが同梱されているモデルでは、リモコンを使って再生操作を行うことができます。詳細は『応用にチャレンジ』を確認してください。

WinDVDコントロールパネル





再生するDVD-Videoによっては、表示が一部異なる場合があります。また、操作ボタンの一部は、機能対応している場合のみ表示できます。

【「InterVideo WinDVD」の問い合わせ先】

東芝（東芝PCダイヤル）

ナビダイヤル ：0570-00-3100（サポート無料）
受付時間 ：9:00～19:00（年中無休）
システムメンテナンスのため、サポートを休止させていただく場合がございます。

お客様からの電話は全国6箇所（千葉市、大阪市、名古屋市、福岡市、仙台市、札幌市）の最寄りの拠点に自動的に接続されます。
拠点までの電話料金は有料となります。また海外からの電話、携帯電話などで左記電話番号に接続できないお客様は、043-298-8780までご連絡ください。

デジタルカメラの写真を編集する

デジカメWalker（ウォーカー） 2 SE

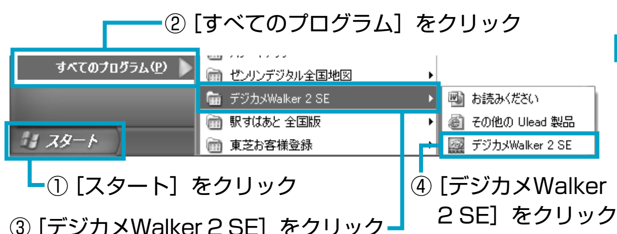


デジタルカメラで撮った写真などの画像を編集するには、「デジカメWalker 2 SE」を使います。文字を書き込んだりなどの編集操作を簡単に行うことができます。

写真を編集する

ここでは、デジタルカメラで撮った写真をパソコンにファイルとして取り込んだ状態で、編集をする場合について説明します。デジタルカメラからパソコンへの取り込みかたは、接続するデジタルカメラによって異なります。詳しくは、『デジタルカメラに付属の説明書』を確認してください。

1 起動する



② [すべてのプログラム］をクリック

① [スタート］をクリック

③ [デジカメWalker 2 SE］をクリック

④ [デジカメWalker 2 SE］をクリック

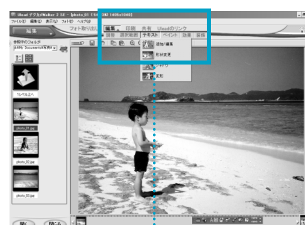
【初めて起動したとき】

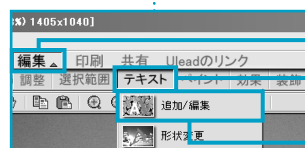


[ユーザ登録］画面が表示されます。
画面の表示に従って操作してください。

5 写真を編集する

ここでは、文字を追加します。





① [編集］をクリック

② [テキスト］をクリック

③ [追加/編集］をクリック

6 文字を追加する

① クリックして文字を入力

② フォント、色などを指定



③ [適用］をクリック

7 文字を囲んでいる枠をドラッグして、位置を調整する



8 編集が完了する

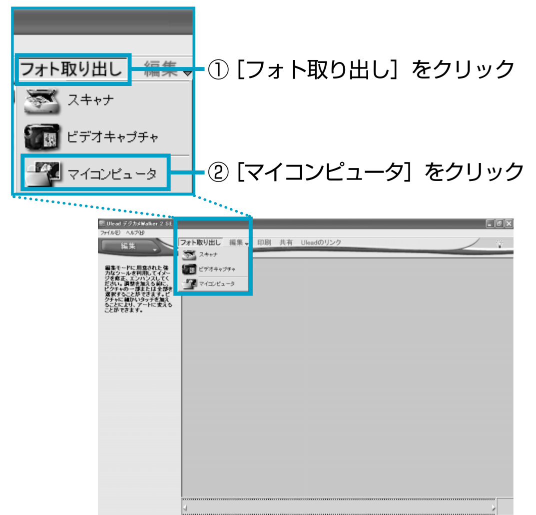


文字が追加されました。

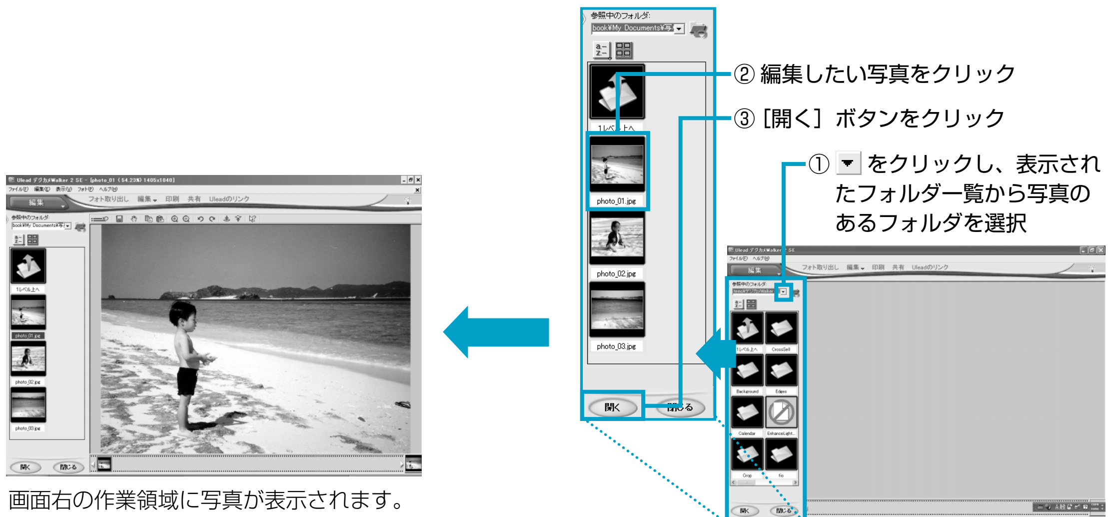
2 モードを「編集」にする



3 写真の取り込み元を選択する



4 編集したい写真を表示する



画面右の作業領域に写真が表示されます。

【デジカメWalker 2 SE（Ulead iPhoto Express）の問い合わせ先】

ユーリードテクニカルサポート

●E-mailによるお問い合わせ

　ホームページ：http://www.ulead.co.jp/tech/tech.htm

上記ページではよくあるご質問（FAQ）ページを随時更新しております。まずはこちらをご確認ください。
それでも解決しない場合は、上記ページに用意されております「お問い合わせフォーム」をご利用のうえ、お問い合わせください。

●電話によるお問い合わせ

　電話番号　：03-5491-5662

　受付時間　：平日10:00～12:00、13:00～17:00
　　　　　　　（土・日・祝祭日・年末年始を除く）

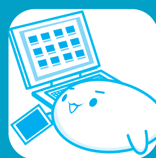
＊ 新製品発売後や時期によってはお電話がつながりにくくなります。より素早い問題解決のためにも、是非左記FAQページをご参照ください。

<ユーザ登録について>

お客様へのより素早く質の高いサポートをさせていただくため、ご利用製品のユーザ登録をお願いしております。
ユーザ登録はホームページより行うことができます。
下記ホームページアドレスより［登録］-［Ulead製品のユーザー登録］を選択して登録を行ってください。
　ホームページ：http://www.ulead.co.jp/

写真を見やすく整理する

Adobe Photoshop Album 2.0 Mini
（アドビ フォトショップ アルバム ミニ）

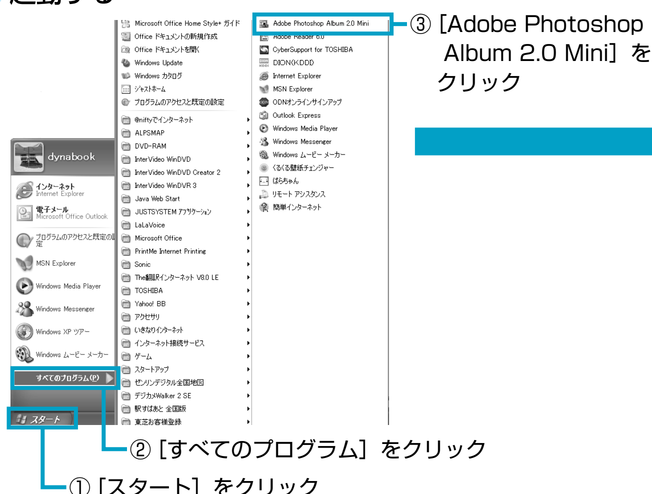


デジタルカメラで撮った写真などの画像を整理するには、「Adobe Photoshop Album 2.0 Mini」を使います。画像を画面上に好きな順番に並べ替えたり、パソコンに保存されている画像を検索することもできます。

写真を整理する

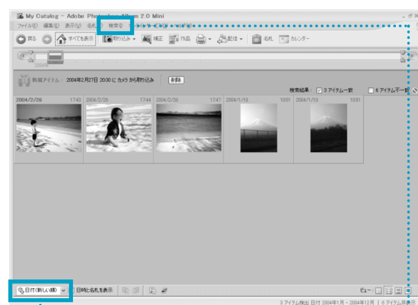
ここでは、写真をパソコンに取り込んで、画面上に並べて表示する方法について説明します。

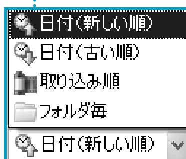
1 起動する



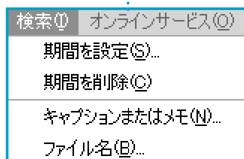
【初めて起動したとき】
［Adobeエンドユーザ使用許諾契約書］画面が表示されます。使用許諾契約に同意のうえ、［同意する］ボタンをクリックしてください。続けて、［製品の登録］画面が表示されます。ユーザ情報を登録してください。ユーザ登録を行うには、インターネットに接続できる環境とメールが受信できる環境が必要です。

5 写真を整理する



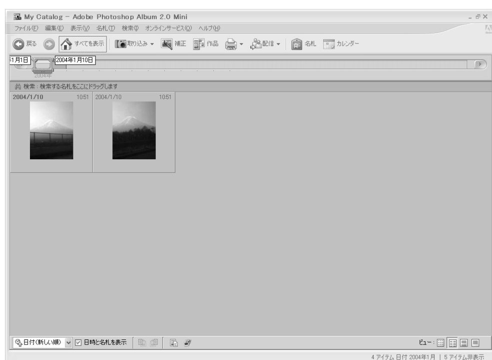


画像を好きな順番に並べ替えることができます。



期間やファイル名を指定して、画像を検索できます。

ここでは、期間を設定して、画像を検索してみましょう。メニューバーの［検索］→［期間を設定］をクリックすると、［期間を設定］画面が表示されます。検索対象の開始日と終了日を指定してください。

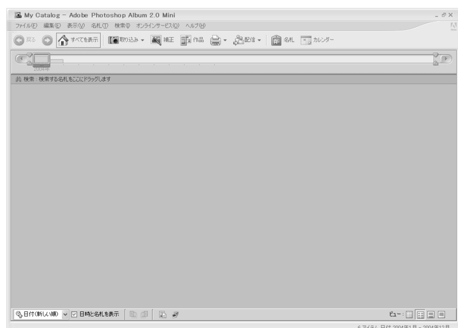


指定した期間に当てはまる画像のみが表示されました。

メモ

「Adobe Photoshop Album 2.0 Mini」では、次のような画像の補正もできます。

- ワンタッチ補正：写真や画像をシャープにしたり、くすみを取ったりします。
- 切り抜き：画像の一部を切り抜きます。
- 赤目修正：フラッシュなどで赤目になっている画像を修正します。

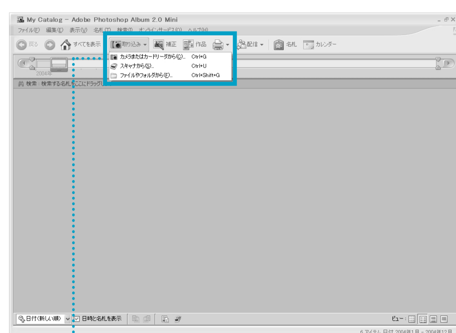


「Adobe Photoshop Album 2.0 Mini」が起動します。
『クイックガイド』が表示されます。ここでは ✕ をクリックして画面を閉じてください。

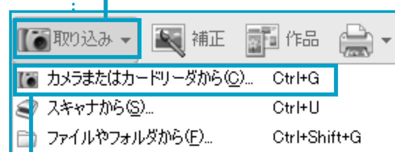
2 デジタルカメラをパソコンに接続する、または画像が保存されている記憶メディアをパソコンにセットする

パソコンとデジタルカメラの接続方法は、『デジタルカメラに付属の説明書』を確認してください。記憶メディア（SDカードなど）をセットする方法は、『応用にチャレンジ』を確認してください。

3 写真をパソコンに取り込む



① ［取り込み］をクリック

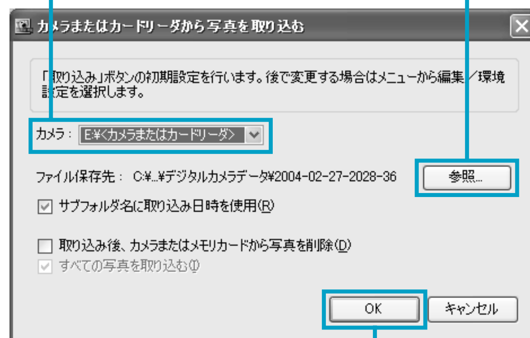


② ［カメラまたはカードリーダから］をクリック

4 保存先を指定する

① ［カメラまたはカードリーダ］を選択

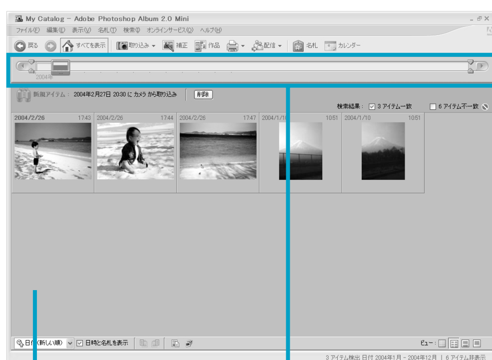
② 画像の保存先を指定



③ ［OK］ボタンをクリック

「サムネールエリアには、新しく取り込んだ画像だけが表示されます。」というメッセージが表示されたら、［OK］ボタンをクリックしてください。

写真がパソコンに取り込まれました。



サムネールエリア
取り込んだ画像を自動整理して順番に並べて表示します。

タイムグラフ
バーを動かすだけで、撮影した日付ごとに画像を探すことができます。

【「Adobe Photoshop Album 2.0 Mini」の問い合わせ先】

Adobe Photoshop Album support

サポート情報については、下記ホームページをご覧ください。
　ホームページ ：http://www.adobe.co.jp/support/products/photoshopalbum.html

●カタログのご請求、製品ご購入前の製品情報、製品購入に関するお問い合わせ
（製品サポート窓口ではございません。「購入する」ための情報提供窓口です）

カスタマーインフォメーションセンター
　TEL　　　：03-5350-0407
　受付時間　：9:30 ～17:30（土曜、日曜、祝日、指定休日を除く）
　＊操作に関する内容は東芝PCダイヤルへお問い合わせください。

映像を編集してDVDに残す

InterVideo WinDVD™ Creator 2 Platinum for TOSHIBA



映像を編集してDVDに残すには、「WinDVD Creator」を使います。録画したテレビ番組やデジタルビデオカメラで撮影した映像をパソコンで編集し、DVDに残すことができます。
＊DVDの作成は、DVDスーパーマルチドライブモデル、DVDマルチドライブモデル、DVD-R/-RWドライブモデルのみ

録画したTV番組や映像ファイルをDVDにする

ここでは、録画したTV番組や、あらかじめファイルにしておいたビデオ映像などをDVDに書き込む方法を説明します。

1 DVDにする映像ファイル（TV番組やビデオ映像のファイルなど）を用意する

あらかじめ「WinDVR」を使って映像ファイルを用意しておきます。操作についての詳細は、『InterVideo WinDVR ユーザーズ・マニュアル』を確認してください。

2 起動する





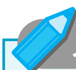
お願い テレビ番組の取り込みについて

● テレビ番組、ビデオデッキやアナログのビデオカメラのテープの映像を取り込んだり編集するときは、まず「WinDVR」を使用して映像を取り込み、その後「WinDVD Creator」で編集してください。「WinDVR」と「WinDVD Creator」の詳細については『InterVideo WinDVR ユーザーズ・マニュアル』と『InterVideo WinDVD Creator 2 Platinum ユーザーズ・マニュアル』を確認してください。



お願い 「WinDVD Creator」の使用にあたって

● 本製品にインストールされている「Windows Movie Maker 2」やその他の映像データを取り込むソフトウェアは使用しないでください。
●「InterVideo WinDVD」などの映像を再生するアプリケーションが動作していると、編集中のプレビューが正しく表示されないことがあります。編集中は他のアプリケーションを終了してください。
● 編集中のプレビューは内部液晶ディスプレイにのみ表示されます。外部ディスプレイには表示されません。
● 著作権保護された映像が保存されているDVDの映像の編集は行えません。
● 著作権保護されているコンテンツは再生できません。
●「WinDVD Creator」の動作中は、画像の解像度・色数の変更は行わないでください。
● バッテリ駆動で使用中に映像データの取り込みを行うと、バッテリ消耗などによって取り込みに失敗するおそれがあります。必ずACアダプタを電源に接続してご使用ください。



メモ

プロジェクトモードでのDVDの書き込みにおいて、サポートしているメディアは、次のとおりです。
・ DVDスーパーマルチドライブモデル：DVD-RAM、DVD-RW、DVD-R、DVD+RW、DVD+R
・ DVDマルチドライブモデル：DVD-RAM、DVD-RW、DVD-R
・ DVD-R/-RWドライブモデル：DVD-RW、DVD-R
これらのメディアは、DVD-Videoフォーマットにて書き込むことができます。



「WinDVR」を使って用意した映像ファイルは、P27「テレビを見る／番組を録画する」の手順8で指定した場所に保存されています。初期状態では、［マイ ドキュメント］の［マイ ビデオ］フォルダに保存するように設定されています。

3 ［作成済みのビデオファイルをCD/DVDに作成］のボタンをクリックする



4 使用するファイルを選択する



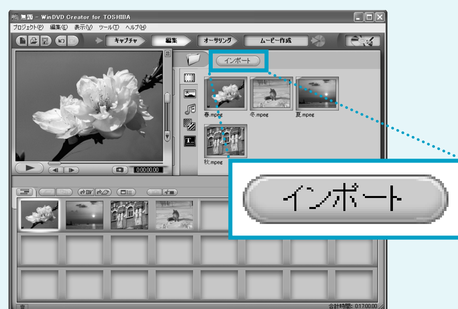
① ファイルの保存場所を指定

② ファイルを選択
複数選択したいときは、Ctrlキーを押したまま、ファイルをクリックします。

③［開く］ボタンをクリック



映像ファイルの取り込みは、編集を行っている最中にも行えます。

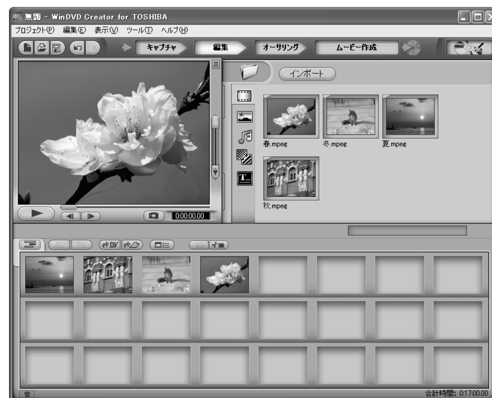


①［インポート］をクリック



② ファイルを選択（本ページ手順4同様）

5 ビデオファイルが取り込まれる



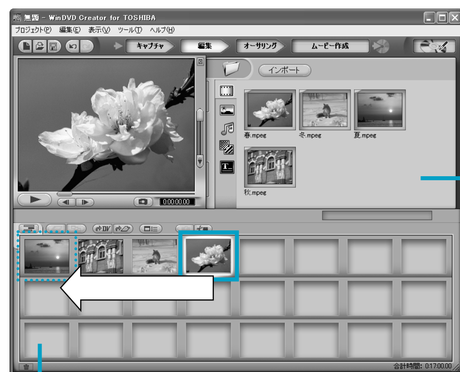
ビデオファイルが取り込まれ、編集画面が表示されました。
以降、取り込まれた映像のことを「クリップ」と呼びます。

次は、編集を行います。

次のページへ

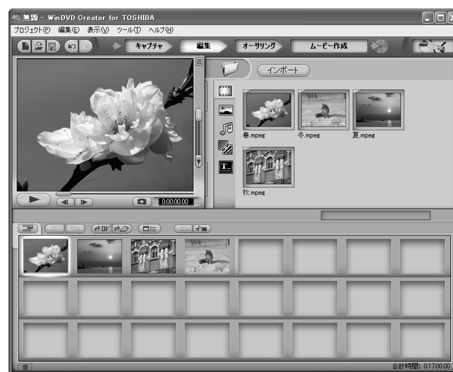
6 クリップを並び替える

ストーリーボードに表示されたクリップをドラッグアンドドロップして、書き込みたい順番に並び替えます。



メディアライブラリー
取り込んだ映像を表示します。

ストーリーボード
ここに並べた順に、DVDに書き込まれます。

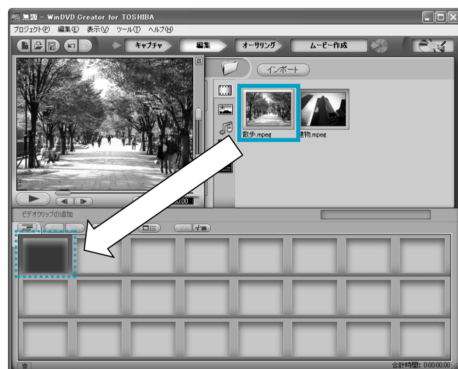


クリップが並び替えられました。



編集は、取り込んだ映像の録画時間により、時間がかかることがあります。

P24「デジタルビデオカメラで撮影した映像をDVDにする」で、デジタルビデオカメラから直接映像を取り込んだ場合は、クリップがストーリーボードに表示されていません。メディアライブラリーに表示されているクリップを、ストーリーボードにドラッグアンドドロップしてください。



① クリップをストーリーボードにドラッグアンドドロップする



クリップがストーリーボードに並べられました。必要なクリップを順次ストーリーボードにドラッグアンドドロップしてください。



編集やDVDメニューを作る操作では、ここで説明している内容以外にも、次のような加工ができます。

- 編集の画面では、クリップの不要な部分（CMなど）をカットしたり、クリップを分割することができます。また、映像（動画）だけでなく、画像（静止画）や音楽を追加することもできます。
- オーサリングの画面では、DVDメニューの背景画像を替えたり、文字の入力やボタンを変更することができます。

これらについての詳細は、『InterVideo WinDVD Creator 2 Platinum ユーザーズ・マニュアル』を確認してください。

7 ［オーサリング］をクリックする



次にオーサリングを行います。
オーサリングとは、映像、画像、音声、文字などを編集して1つにまとめることです。またDVDメニュー（タイトル画面）を付けることができます。
ここではDVDメニューを付けてみましょう。

プレビュー画面
ここに表示されている画像がDVDメニューの画面になります。



オーサリングの画面に切り替わりました。
ここでは、あらかじめ用意されているDVDメニューを使います。

8 ［オーサリングプレビュー］ボタンをクリックする

DVDメニューの動作を確認することができます。



9 プレビュー画面で動作を確認する



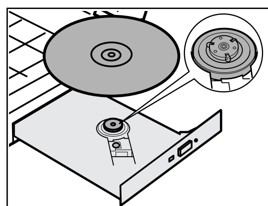
作ったDVDメニューを確認できる画面に切り替わりました。確認の操作は、画面右のリモコンを使います。
この画面を閉じるときは、⏻ボタンをクリックしてください。

これで、切り出した映像を1つにまとめ、DVDメニューを作ることができました。

次はDVDに書き込みます
＊DVDに書き込むことができるのは、DVDスーパーマルチドライブモデル、DVDマルチドライブモデル、DVD-R/-RWドライブモデルのみです。
＊ハードディスクに書き出すこともできます。

次のページへ

10 ドライブにDVDをセットする



ここでは、DVDディスクに直接書き込む方法を説明します。ハードディスクに書き出す場合は、手順10を行う必要はありません。

11 ［ムービー作成］をクリックする





お願い DVDへの書き込み／ハードディスクへの書き出しについて

【DVDへの書き込み／ハードディスクへの書き出しを行うにあたって】

- バッテリ駆動で使用中に書き込みを行うと、バッテリの消耗などによって書き込みに失敗するおそれがあります。必ずACアダプタを電源に接続してご使用ください。
- 書き込みを行うときは、本製品の省電力機能が働かないようにしてください。また、スタンバイや休止状態を実行しないでください。

参照 省電力の設定について『応用にチャレンジ 4章 バッテリ駆動』

- 次に示すような、ライティングソフトウェア以外のソフトウェアは終了させてください。
  - ・スクリーンセーバ
  - ・ウイルスチェックソフト
  - ・ディスクのアクセスを高速化する常駐型ユーティリティ
  - ・モデムなどの通信アプリケーション　など

  ソフトウェアによっては動作の不安定やデータの破損の原因となるので、使用しないことを推奨します。
- タッチパッドを操作する、ウィンドウを開く、ユーザを切り替える、画面の解像度や色数の変更など、パソコン本体の操作は行わないでください。
- 次の機器の取り付け／取りはずしを行わないでください。
  PCカード、USB対応機器、外部ディスプレイ、i.LINK対応機器、SDメモリカード、メモリースティック、パラレルコネクタに接続する機器、テレビ
- パソコン本体から、携帯電話および他の無線通信装置を離してください。

【作成したDVDについて】

- 作成したDVDは、一部の家庭用DVDビデオレコーダやパソコンでは再生できないこともあります。
- 作成したDVDを本製品で再生するときは、「InterVideo WinDVD」を使用してください。「Windows Media Player」やその他の市販ソフトを使用して再生すると、表示が乱れたり、再生できない場合があります。

【映像データをDVDに書き込む前に】

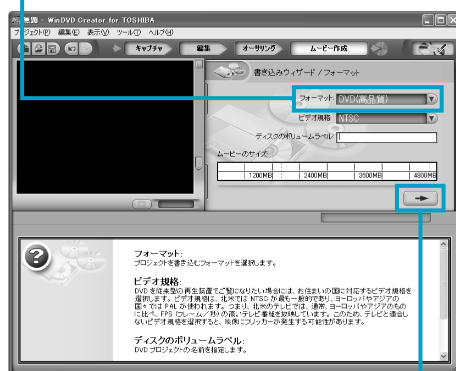
- DVDに書き込みを行う際ときには、それぞれの規格に準拠したメディアを使用してください。また、推奨するメーカのメディアを使用してください。なお、再生する機器に応じて、その機器の取扱説明書でも推奨されるメディアを使用してください。
  守らずに使用すると、書き込みに失敗するおそれがあります。また、ドライブへのショックなど本体異常や、メディアの状態などによっては処理が正常に行えず、書き込みに失敗することがあります。
- 本製品に付属の「WinDVD Creator」以外の映像データライティングソフトウェアは動作保証していません。

【「WinDVD Creator」のムービー作成について】

- ムービー作成では－VRフォーマット、＋VRフォーマットでの書き込みはできません。
- 書き込みが可能なDVDへ最大約2時間の映像データをDVD-Videoフォーマットで記録できます。
- DVD-AudioやVideo CD、miniDVDを作成することはできません。
- DVD-RAMにDVD-Videoフォーマットで記録できますが、作成されたメディアは本製品にインストールされている「InterVideo WinDVD」でのみ再生可能となります。
- DVDへ書き込みを行うには、ビデオの長さ1時間当たりハードディスクに2GB以上の空き容量が必要です。あらかじめハードディスクの空き容量を確認してください。
- DVDに映像データを書き込む場合、映像データの大きさや編集のしかたによってはデータの変換に数時間かかることがあります。

12 フォーマット（画質）を選択する

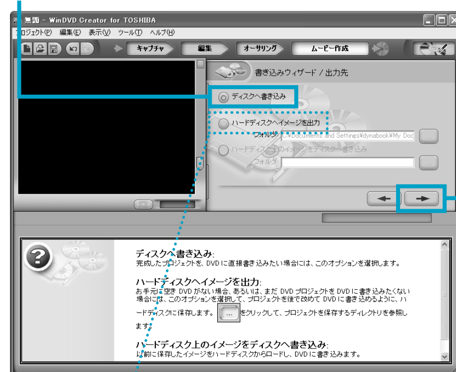
① フォーマットを選択
きれいな映像として残したいときは［DVD（高品質）］を、より長時間書き込みたいときは［DVD（標準）］を選択します。



② → をクリック

13 出力先を設定する

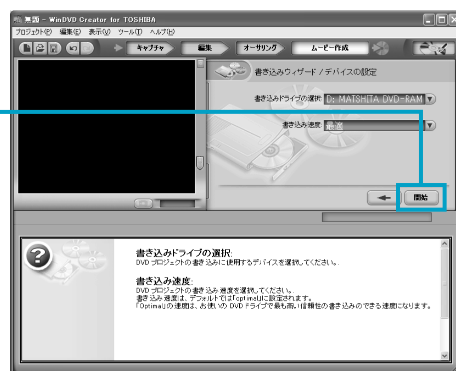
①［ディスクへ書き込み］をチェックする



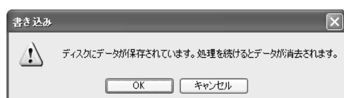
② → をクリック

ハードディスクに書き出す場合は、［ハードディスクへイメージを出力］をチェックし、［フォルダ］欄で書き出す場所を指定してください。

14 ［開始］ボタンをクリックする

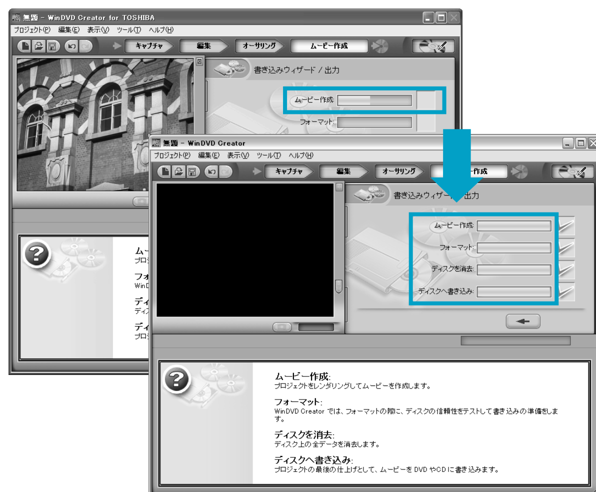


すでにデータが書き込まれているDVD-RAM、DVD-RW、DVD+RWをドライブにセットした場合は、次のようなメッセージが表示されます。



データを削除して、DVDに書き込んでもよい場合は、［OK］ボタンをクリックしてください。

15 映像の書き込みが始まる



16 書き込みが終了し、［OK］ボタンをクリックする

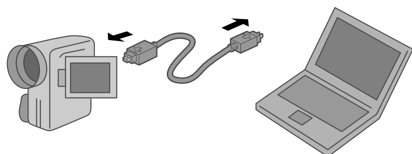


書き込みが終了するとドライブのディスクトレイが自動的に開きます。

デジタルビデオカメラで撮影した映像をDVDにする

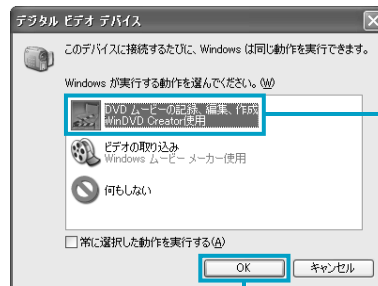
ここでは、デジタルビデオカメラで撮影した映像をパソコンに取り込んで、DVDにする方法を説明します。

1 デジタルビデオカメラをパソコンに接続し、電源を入れる



デジタルビデオカメラの接続と電源の入れかたは、『デジタルビデオカメラに付属の説明書』を確認してください。

2 動作を指定する



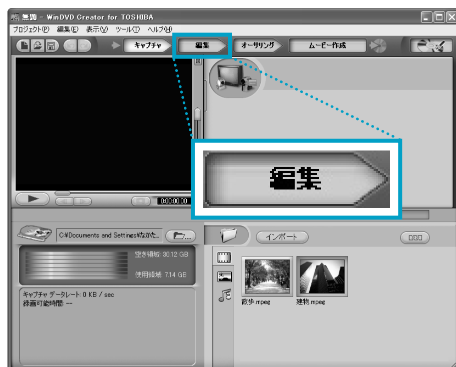
① [DVDムービーの記録、編集、作成 WinDVD Creator使用]をクリック

② [OK] ボタンをクリック

5 デジタルビデオカメラの電源を切り、パソコンと接続しているケーブルを取りはずす

デジタルビデオカメラの電源の切りかたと接続ケーブルの取りはずしかたは、『デジタルビデオカメラに付属の説明書』を確認してください。

6 [編集] をクリックする



編集の画面に切り替わります。
以降の操作は、P20「録画したTV番組や映像ファイルをDVDにする」の手順6に進んでください。



複数のテープから映像を取り込みたい場合は、テープを入れ替えて手順3をくり返してください。

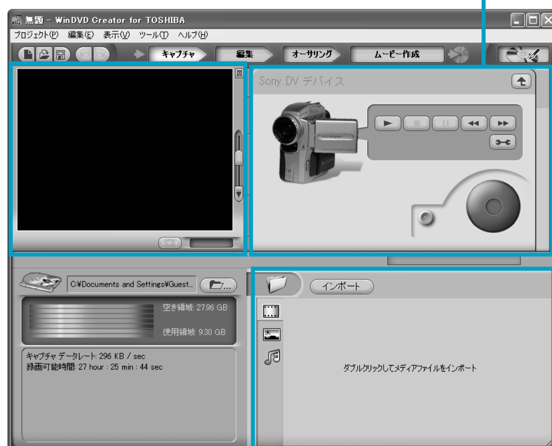
インポート をクリックすると、あらかじめパソコンに保存されている映像ファイルを取り込むことができます。詳細は、P19「録画したTV番組や映像ファイルをDVDにする」を確認してください。

3 編集したい部分を切り出して取り込む

「WinDVD Creator」が起動します。

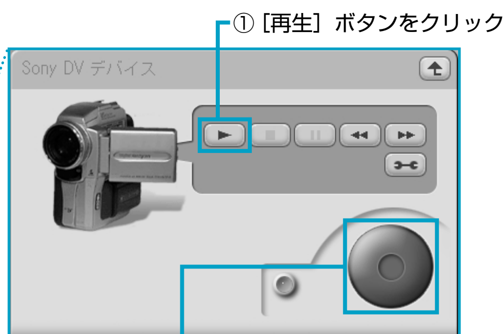
コントロール画面
映像の再生や停止、録画などを操作する画面です。

プレイビューウィンドウ
再生中の映像を表示します。



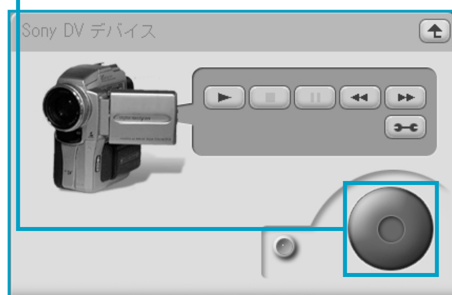
メディアライブラリー
編集に使うファイルを管理します。取り込んだ映像は、ここに表示されます。

① ［再生］ボタンをクリック



② DVDに残したい映像になったら［録画］ボタンをクリック

③ 取り込みが終わりまできたら、［停止］ボタンをクリック





ビデオライブラリーに映像が表示され、映像が取り込まれました。

4 別のカット（映像）を切り出したい場合は、手順3をくり返す

ここでは、全部で2つのカットを取り込みます。

【「WinDVD Creator」の問い合わせ先】

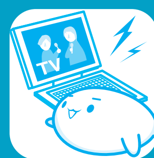
インタービデオジャパン　ユーザーサポート

お問い合わせの前にホームページ（http://www.intervideo.co.jp/）のサポートページをご確認ください。
当製品の無償サポートはご購入後1年間となります。
※なお、2004年6月1日からTELならびにFAX番号が変更になります。下記番号をご参照ください。

TEL　：（現在）03-5447-0576 →（2004年6月1日以降）045-226-3899
FAX　：（現在）03-5447-6689 →（2004年6月1日以降）045-226-3895
ホームページ：http://www.intervideo.co.jp/
E-mail　：techsupp@intervideo.co.jp
受付時間　：月～金　9:30～17:00（12:00～13:30および祝祭日を除く）
（夏期・年末特定休業日、サポート窓口休業日、祝祭日を除く）

テレビを見る／番組を録画する

InterVideo WinDVR™ 3 for TOSHIBA
（インタービデオ ウィンディーブイアール フォー トウシバ）



＊TVチューナー内蔵モデル、TVチューナボックス同梱モデルのみ
パソコンでテレビを見たり、番組を録画するには「WinDVR」を使います。ビデオデッキやその他の映像機器の映像を見ることもできます。

パソコンでテレビを見る

ここでは、パソコンでテレビを見る方法について説明します。

1 テレビアンテナを、アンテナ変換ケーブルを使ってパソコンに接続する

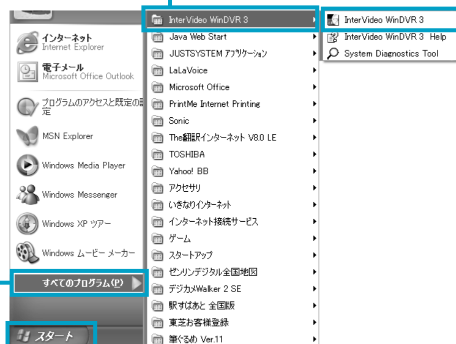
TVチューナ内蔵モデルの場合の、接続方法と使用上の注意については、『応用にチャレンジ』を確認してください。
TVチューナボックス同梱モデルの場合は、テレビアンテナ以外にもTVチューナを接続する必要があります。詳細は、『TVチューナボックス取扱説明書』を確認してください。

テレビだけでなく、ビデオデッキやその他の映像機器をパソコンに接続して、映像を見ることもできます。手順3で、［入力元］に［コンポジット］または［S-Video］を選択してください。
ビデオデッキなどの接続方法については、『ビデオデッキに付属の説明書』を確認してください。

メモ

- 「WinDVR」についての詳細は、『InterVideo WinDVR ユーザーズ・マニュアル』を確認してください。
- 「WinDVR」を使って録画した番組を、「WinDVD Creator」で編集することもできます。

2 起動する



メモ

2回目以降の起動時で、チャンネル設定済みの場合は、手順3～8を行う必要はありません。手順2のあと、直接「WinDVR」の画面が表示され、テレビを見ることができます。



お願い 「WinDVR」の使用にあたって

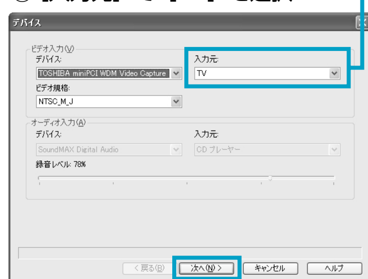
- 「WinDVR」で録画されたテレビなどは、個人で楽しむ目的だけに使用できます。
- 「WinDVR」動作中は画面解像度、色数の設定変更を行わないでください。
- パソコンの電源がオフの場合、予約録画を実行できません。
- パソコンがログオフ状態の場合は、予約録画を実行できません。
- 予約録画を設定する場合は、必ず録画可能時間を確認してください。
- パソコン本体は、必ずACアダプタに電源を接続してご使用ください。
  バッテリで使用すると、バッテリの消耗などにより、録画が失敗したり、音が飛んだりするおそれがあります。
- 使用状況やシーンによっては映像がスムーズに再生されない場合があります。
- 著作権保護されているコンテンツは録画することができません。
- テレビ番組、ビデオデッキやアナログのビデオカメラのテープの映像を録画・取り込みし、編集するときは、まず「WinDVR」を使用して映像を取り込み、その後「WinDVD Creator」で編集してください。「WinDVR」と「WinDVD Creator」の使いかたについては、『InterVideo WinDVR ユーザーズ・マニュアル』と『InterVideo WinDVD Creator 2 Platinum ユーザーズ・マニュアル』をご覧ください。



テレビ番組を録画予約するときは、iEPGサイトを利用しましょう。iEPGとは、インターネットを使用したテレビ番組録画予約方式のことで、ブラウザから番組を指定して録画予約することができます。本書では、ONTV JAPANのサイトを使って説明します。
ONTV JAPANはオンティービー株式会社が運営するEPGサービスサイトです。

3 入力元でTVを選択する

① [入力元] で [TV] を選択

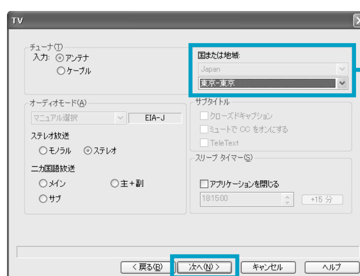


② [次へ] ボタンをクリック

4 TVを見る国または地域を選択する

ここでは「東京」を選択します。

① [国または地域] で [東京-東京] を選択

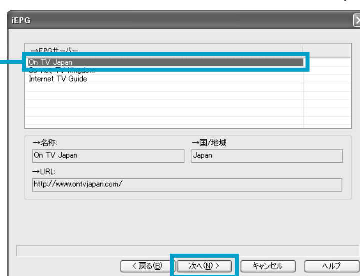


② [次へ] ボタンをクリック

5 EPGサーバーを選択する

ここでは「ONTV JAPAN」を選択します。

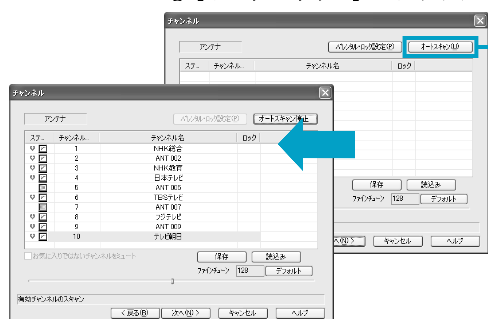
① [EPGサーバー] で [On TV Japan] を選択



② [次へ] ボタンをクリック

6 チャンネルを設定する

① [オートスキャン] をクリック



受信可能なチャンネルを自動的に設定します。

7 表示しないチャンネルのチェックをはずす

① 見ないチャンネルのチェックをはずす



② [次へ] ボタンをクリック

8 録画する番組の保存場所を指定する

初期状態では、[マイ ドキュメント] の [マイ ビデオ] に保存されるように設定されています。

① 保存場所を指定



② [完了] ボタンをクリック

テレビ番組が表示されました。



チャンネルの変えかたなどの詳細は、『InterVideo WinDVR ユーザーズ・マニュアル』を確認してください。

番組を予約録画する

ここでは、iEPGサイトを利用して、テレビ番組を予約録画する方法を説明します。あらかじめ、インターネットに接続できる準備をしておいてください。

1 「WinDVR」を起動しておく



2 ［パネル］ボタンをクリックする



3 ［TV パネル］をクリックする



4 ［EPG］をクリックする



録画した番組を再生する

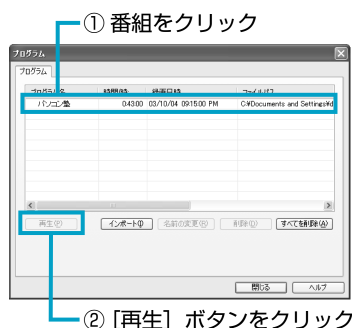
ここでは、録画したテレビ番組を再生する方法を説明します。

1 ［プログラム］ボタンをクリックする



2 再生する番組を選択する

① 番組をクリック



② ［再生］ボタンをクリック

再生できました。



メモ

- ビデオデッキやその他の映像機器で録画した番組をパソコンに取り込み、「WinDVR」で再生するときの手順も同様です。手順2で、録画した番組の一覧が表示されます。
- リモコンが同梱されているモデルでは、リモコンを使って再生操作やチャンネル変更が行えます。詳細は『応用にチャレンジ』を確認してください。

5 番組表を表示する

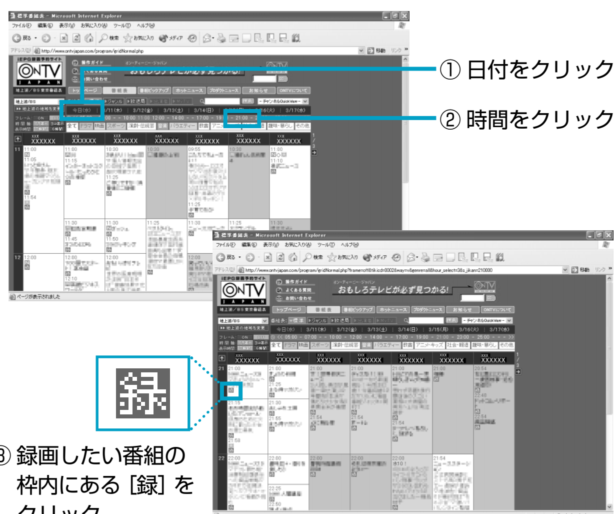
① ［番組表］をクリック



ブラウザが起動してiEPGサイトが表示されました。ここで表示されるiEPGサイトは、P27「パソコンでテレビを見る」の手順5で選択したサイトです。

6 予約する日時を指定し、番組を選択する

ここでは、3月10日（今日）の21:00を指定します。



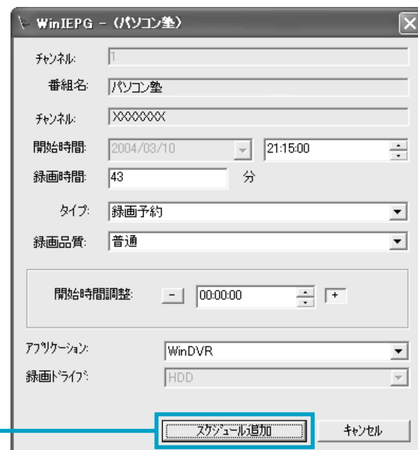
① 日付をクリック

② 時間をクリック

③ 録画したい番組の枠内にある［録］をクリック

または録画したい番組名をクリックし、表示された番組情報詳細ページで、［iEPG録画］ボタンをクリックしてください。

7 ［スケジュール追加］をクリックする



8 録画の予約が完了する

引き続き、他の番組の録画を予約したいときは手順6～7をくり返してください。
予約したい番組の設定がすべて終わったら、iEPGサイトを閉じましょう。



テレビ番組の予約録画はパソコンが次の状態のときに行われます。
・ 電源が入っているとき
・ スタンバイ機能を実行しているとき
・ 休止状態のとき
このためパソコンの電源を切ったり、ログオフ状態にしないでください。

【「WinDVR」の問い合わせ先】

インタービデオジャパン　ユーザーサポート

お問い合わせの前にホームページ（http://www.intervideo.co.jp/）のサポートページをご確認ください。
当製品の無償サポートはご購入後1年間となります。
※なお、2004年6月1日からTELならびにFAX番号が変更になります。下記番号をご参照ください。

TEL　：（現在）03-5447-0576 →（2004年6月1日以降）045-226-3899
FAX　：（現在）03-5447-6689 →（2004年6月1日以降）045-226-3895
ホームページ：http://www.intervideo.co.jp/
E-mail　：techsupp@intervideo.co.jp
受付時間　：月～金　9:30～17:00（12:00～13:30および祝祭日を除く）
（夏期・年末特定休業日、サポート窓口休業日、祝祭日を除く）

文書や表、メールを作る

Microsoft® Office Personal Edition 2003
（マイクロソフト オフィス パーソナル エディション）



＊Office搭載モデルのみ

Microsoft® Office Personal Edition 2003には、次のアプリケーションが含まれています。

- Microsoft® Office Word 2003（ワープロソフト）
- Microsoft® Office Excel 2003（表計算ソフト）
- Microsoft® Office Outlook® 2003（電子メール／スケジュール管理ソフト）

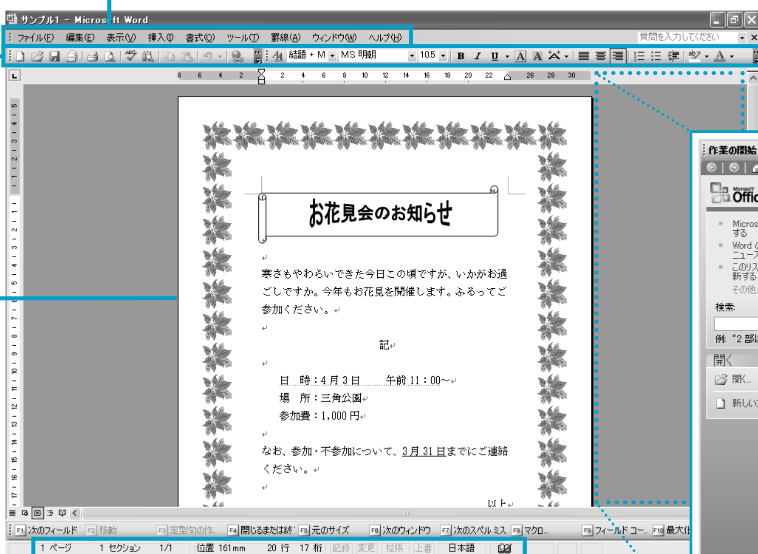
案内状や報告書を作る（Microsoft® Office Word 2003）

Word 2003は、きれいに体裁を整えた文書を作ることができるワープロソフトです。文字の種類や大きさを決めたり、文書に表やさし絵を入れたり、他のソフトで作った画像やグラフを貼り付けたりすることができます。書類作成などで大変役立ちます。

Word 2003を起動すると、次の画面が表示されます。

ツールバー
よく使う機能のボタンが集められています。クリックするだけで機能を実行できます。

メニューバー
項目別に機能が収められています。クリックすると、操作のメニューが表示されます。



作業ウィンドウ＊
よく使うファイルや機能がまとめてあります。作業ウィンドウの内容は、状況に合わせて自動的に変更されます。

＊Word 2003起動時に表示されます。画面が狭く感じられる場合は、× をクリックしてウィンドウを閉じましょう。

文書ウィンドウ

ステータスバー
Word 2003の作業状態がわかります。

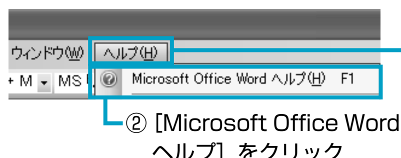
起動方法

起動方法は、次のとおりです。

1 ［スタート］→［すべてのプログラム］→［Microsoft Office］→［Microsoft Office Word 2003］をクリックする

ヘルプの起動方法

「Word 2003」についての詳細は、ヘルプを確認してください。起動方法は、次のとおりです。



① メニューバーの［ヘルプ］をクリック

② ［Microsoft Office Word ヘルプ］をクリック

表やグラフを作る（Microsoft® Office Excel 2003）

Excel 2003は、見積書や請求書、数字の多い報告書などを作成できる表計算ソフトです。項目や数字を入力して表を作り、計算式を設定すると自動的に計算を行うことができます。合計、平均、パーセント、標準偏差などの計算が可能です。また、入力した数字からグラフを作ることもできます。

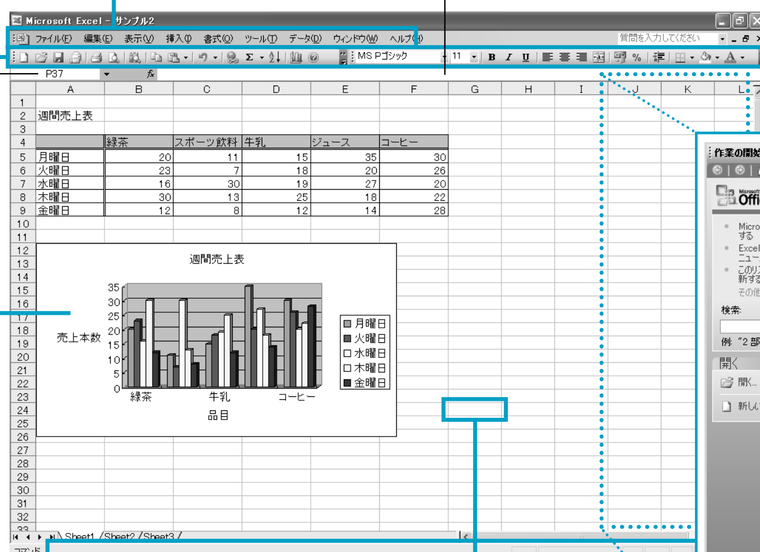
Excel 2003を起動すると、次の画面が表示されます。

名前ボックス
セル番地（列番号＋行番号）で選択しているセルの位置などを表示します。

ツールバー
よく使う機能のボタンが集められています。クリックするだけで機能を実行できます。

メニューバー
項目別に機能が収められています。クリックすると、操作のメニューが表示されます。

数式バー
セルの内容（数値、数式、文字）を表示します。



作業ウィンドウ*
よく使うファイルや機能がまとめてあります。作業ウィンドウの内容は、状況に合わせて自動的に変更されます。

＊Excel 2003起動時に表示されます。画面が狭く感じられる場合は、 ✕ をクリックしてウィンドウを閉じましょう。

ワークシート

セル
ワークシートを構成するマスのことです。ここに数値、数式、文字を入力します。

ステータスバー
Excel 2003の作業状態がわかります。

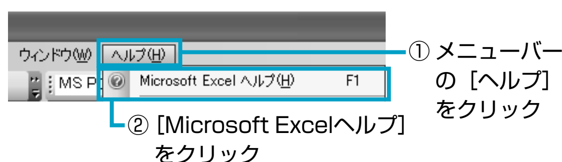
起動方法

起動方法は、次のとおりです。

1 ［スタート］→［すべてのプログラム］→［Microsoft Office］→［Microsoft Office Excel 2003］をクリックする

ヘルプの起動方法

「Excel 2003」についての詳細は、ヘルプを確認してください。起動方法は、次のとおりです。



メールをしたい（Microsoft® Office Outlook® 2003）

Outlook 2003は電子メールをはじめとして、予定表・連絡先・仕事の情報・Webサイトへのアクセスなどを管理できるスケジュール管理ソフトです。
ここでは、電子メールの機能について簡単に紹介します。

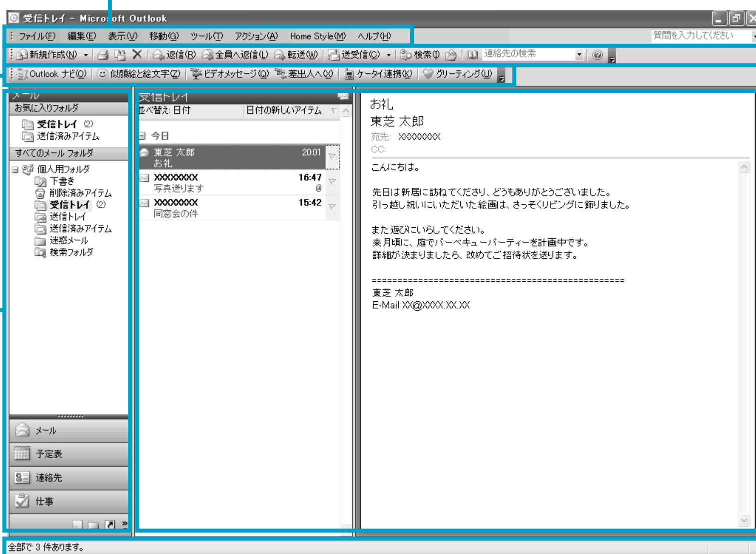


Outlook 2003は、プロバイダとの契約やメールの設定などが完了してから使用してください。設定内容の詳細については、契約したプロバイダに問い合わせてください。プロバイダによっては、Outlook 2003をメールソフトとして使用できない場合がありますので、契約するプロバイダが対応しているかどうか、確認してください。

Outlook 2003を起動すると、次の画面が表示されます。

Home Styleツールバー
Outlook 2003をさらに活用することができる「Microsoft® Office Home Style+」のツールバーです。

メニューバー
項目別に機能が収められています。クリックすると、操作のメニューが表示されます。



ツールバー
よく使う機能のボタンが集められています。表示されるボタンは、選択されているフォルダによって異なります。

閲覧ウィンドウ
選択したメールフォルダの内容が表示され、メールを閲覧することができます。

ステータスバー
Outlook 2003の状態を表示します。

ナビゲーションウィンドウ
［メール］ボタンをクリックすると、ウィンドウ上側にメールフォルダが表示されます。

起動方法

起動方法は、次のとおりです。

1 **［スタート］→［すべてのプログラム］→［Microsoft Office］→［Microsoft Office Outlook 2003］をクリックする**

初めてOutlook 2003を起動したときは、［Outlook 2003 スタートアップ］画面が表示されます。
画面に従って操作してください。

ヘルプの起動方法

「Outlook 2003」についての詳細は、ヘルプを確認してください。起動方法は、次のとおりです。



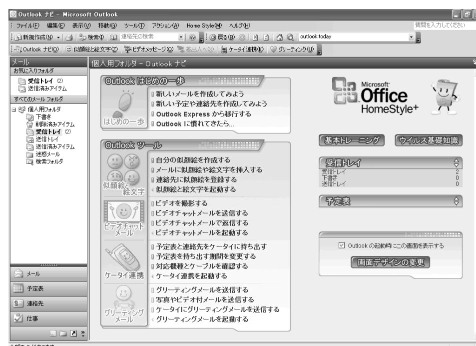
① メニューバーの［ヘルプ］をクリック

② ［Microsoft Office Outlookヘルプ］をクリック

Home Style+を活用する

「Microsoft® Office Home Style+」は、Office Personal 2003にさまざまな機能を追加するソフトウェアです。「Outlookナビ」で、Outlook 2003の使いかたを調べることができたり、Home Styleツールバーでは、自分の似顔絵の作成や動画を使ったメールの送信、携帯電話とOutlook 2003の連携を行うことができます。
詳しくは、「Outlookナビ」を確認してください。

① Outlook 2003起動後、Home Styleツールバーの［Outlookなび］ボタンをクリックする
［Outlookなび］画面が表示されます。
② 知りたい項目をクリックする
ヘルプが表示されます。



Home Style+をより詳しく知りたいときは、「Microsoft® Office Home Style+ ガイド」を確認してください。
① ［スタート］→［すべてのプログラム］→［Microsoft® Office Home Style+ ガイド］をクリックする
［Home Styleガイド］画面が表示されます。
② 使いたい機能のボタンをクリックする
機能のヘルプやウィザードが表示されます。



【初めて Office Personal 2003を起動したとき】

・ Office Personal 2003のいずれかのアプリケーションを初めて起動したときは、［ユーザー名の指定］画面と［Microsoft Office使用許諾契約書］画面が表示されます。使用許諾契約書に同意して使用してください。

【再セットアップしたとき】

・ 再セットアップでは、Office Personal 2003は復元されません。Windowsのセットアップが終了した後に、『Microsoft® Office Personal Editon 2003 スタート ガイド』をよく読んで、復元してください。またライセンス認証を行う必要があります。詳細は『困ったときは 4章 再セットアップ』を確認してください。
・ 再セットアップ後、Office Personal 2003を復元する前にメールソフトを起動すると、Outlook Expressが起動します。Office Personal 2003の復元後は、Outlook 2003が起動します。

【「Word 2003／Excel 2003／Outlook 2003／Home Style+」の問い合わせ先】

マイクロソフト 無償サポート
<TEL>
TEL：東京：03-5354-4500
　　　大阪：06-6347-4400
※次の情報をお手元に用意してご連絡ください。
郵便番号、ご住所、お名前、電話番号、お問い合わせ製品のプロダクトID
詳細は、製品添付の「パッケージ内容一覧」をご覧ください。

<受付時間・お問い合わせ回数>
● セットアップ、インストールに関するお問い合わせ
受付時間　：9:30〜12:00、13:00〜19:00（平日）
　　　　　　10:00〜17:00（土曜日、日曜日）
　　　　　　（マイクロソフト株式会社休業日、年末年始、祝祭日を除く。日曜日が祝祭日の場合は営業いたします。その場合、振替休日は休業させていただきます）
回数　　　：指定はございません。

● 基本操作に関するお問い合わせ
受付時間　：9:30〜12:00、13:00〜19:00（平日）
　　　　　　10:00〜17:00（土曜日）
　　　　　　（マイクロソフト株式会社休業日、年末年始、祝祭日を除く）
回数　　　：4インシデント（4件のご質問）
インシデント制など詳細については『Microsoft® Office Personal Edition 2003 スタート ガイド』の「お問い合わせについて」をご覧ください。

<ホームページ>
ホームページ：http://support.microsoft.com/
※ 電話サポート（無償）もしくは、製品サポートからお問い合わせになる製品をお選びください。
備考　　　：マイクロソフトサポートWeb上から直接インターネットを通じてお問い合わせも可能です。
答えてねっと：http://www.kotaete-net.net/

サイバーサポートを使う
CyberSupport for TOSHIBA（サイバー サポート フォー トウシバ）

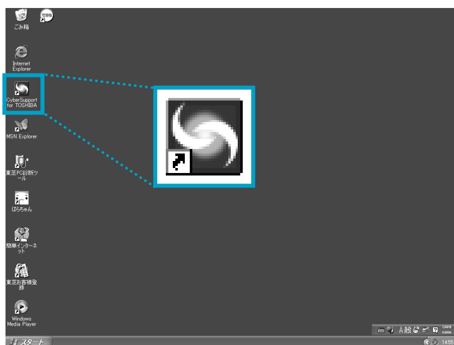


わからないことを調べるには、「サイバーサポート」を使います。「サイバーサポート」では質問を入力して検索したり、Q&A集や用語集を確認することができます。また、東芝PC総合情報サイト「dynabook.com」に本製品に関する新着情報があるかどうかを確認することもできます。

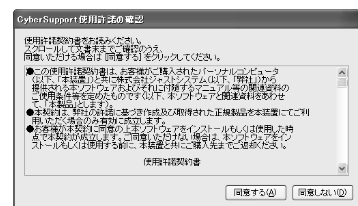
サイバーサポートで調べる

ここでは、質問を入力して、わからないことを調べる方法を説明します。

1 [CyberSupport for TOSHIBA] アイコンをダブルクリックする



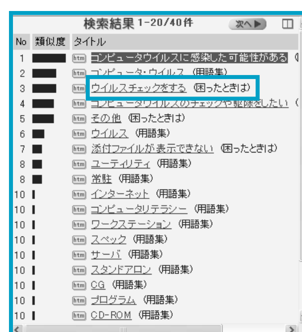
【初めて起動したとき】



[使用許諾の確認] 画面が表示されます。使用許諾契約に同意のうえ、[同意する] ボタンをクリックしてください。

5 見たい項目をクリックする





手順5の後で [トピックの検索] 画面が表示される場合は、[表示] ボタンをクリックしてください。

6 検索が完了する



項目の内容が表示されます。

サイバーサポートってどんなもの？

サイバーサポート（「CyberSupport for TOSHIBA」）を使うと、次のようなことができます。

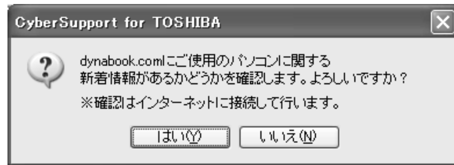
① わからないことや知りたいことを検索できる（ヘルプ機能）
② 目的に合ったアプリケーションを簡単に起動できる
③ パソコンの使いかたや知っておくと便利なこと、用語集などを確認することができる

①は、質問を入力すると、Windowsやアプリケーションのヘルプなど、総合的な情報の中から関連する項目を探し出して表示します。
さらにインターネットに接続して、東芝PC総合情報サイト「dynabook.com」の「よくあるご質問（FAQ）」などに掲載されている情報の中から探し出すこともできます。

②は、やりたいことはわかっているけれど、どのアプリケーションを使えばよいかわからないときに便利な機能です。用途別に分類されているメニューの中から、目的に合ったアプリケーションを起動することができます。

2 「dynabook.com」の新着情報を確認する場合は［はい］ボタンをクリックする

確認する必要のない場合は、［いいえ］をクリックしてください。



新着情報が確認したいのに、画面が表示されない場合は、次のように操作してください。

① 画面左下の［メニュー］ボタンをクリックし、表示されたメニューから［オプション］をクリックする
② ［CyberSupport起動時に確認する］と［確認メッセージを表示する］をチェックし、［OK］ボタンをクリックする
③ ☒ボタンをクリックしてサイバーサポートを終了する
④ サイバーサポートを起動する

検索条件を指定します。
また検索結果の一覧を表示します。

パソコンの使いかた／知っておくと便利／困ったときは／用語集などの各情報が項目ごとに掲載されています。見たい項目のボタンをクリックしてください。

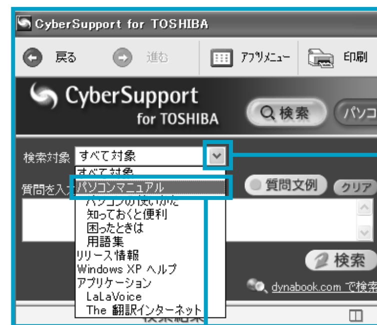


検索結果の一覧から選んだ項目の内容が表示されます。

3 検索対象を選択する

ここでは「パソコンマニュアル」を指定します。





① ［∨］をクリック

② ［パソコンマニュアル］をクリック

サイバーサポートを起動したときに、検索画面が表示されていない場合は、［検索］ボタン（検索）をクリックしてください。

4 質問を入力して検索する

① 質問を入力

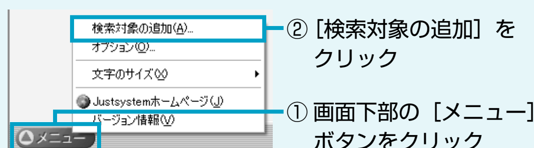


② ［検索］ボタンをクリック

「dynabook.com」へ接続し、「よくあるご質問(FAQ)」と「ダウンロード」に掲載されている本製品の情報を検索することができます。手順4-②で［dynabook.comで検索］（dynabook.com で検索）をクリックしてください。

メモ

検索対象を追加することができます。操作方法は次のとおりです。



① 画面下部の［メニュー］ボタンをクリック

② ［検索対象の追加］をクリック

③ ［アプリケーション一覧］から登録したいヘルプを選択し、［OK］ボタンをクリック
表示されるメッセージを確認し、［はい］ボタンをクリックしてください。

「dynabook.com」の情報を見る

サイバーサポートでは、 dynabook.com ボタンを使ってブラウザを起動し、「dynabook.com」のページを表示することができます。「dynabook.com」では、製品に関する最新の情報やお客様からのよくあるご質問を紹介しています。製品に関してわからないことがあった場合は、まず「dynabook.com」を確認してみてください。

1 サイバーサポートの［dynabook.com］ボタンをクリックする





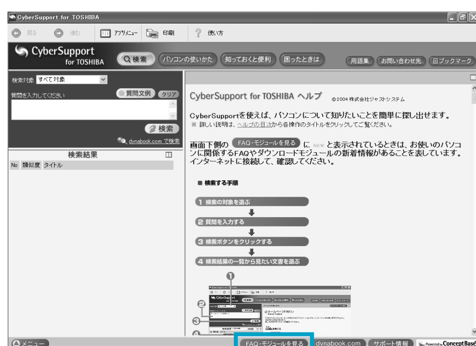


「dynabook.com」が表示されます。

FAQやダウンロードモジュールを確認する

サイバーサポートは、「dynabook.com」に掲載されているFAQやダウンロードモジュールの情報の中から、自動的に本製品に関することだけを簡単に表示させることができます。また、サイバーサポート起動時に新着情報があるかどうかを確認した後、［FAQ・モジュールを見る］ボタンに「NEW」と表示された場合は、本製品に関する新しいFAQやダウンロードモジュールが追加されていることを示します。

1 サイバーサポートの［FAQ・モジュールを見る］ボタンをクリックする



［FAQ・モジュールを見る］ボタンは、サイバーサポート起動時に確認した新着情報の結果によって変わります。

NEW FAQ・モジュールを見る	FAQ・ダウンロードモジュール両方に新着情報があるとき
NEW FAQを見る	FAQに新着情報があるとき
NEW モジュールを見る	ダウンロードモジュールに新着情報があるとき
FAQ・モジュールを見る	FAQ・ダウンロードモジュールの両方とも新着情報がないとき

新着情報を表示します。

以前から掲載されている情報の中から期間を指定して表示します。

「dynabook.com」について

東芝PC総合情報サイト「dynabook.com」では、「よくあるご質問（FAQ）」や、デバイスドライバや修正モジュールのダウンロード、Windows関連情報を提供しています。また、サポート窓口や修理についても案内しています。



＊画面は実際の表示内容と異なる場合があります。

［サポート情報］タブをクリックすると、サポート情報のページが表示されます。

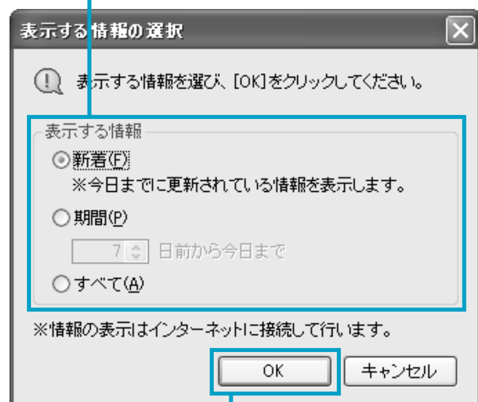


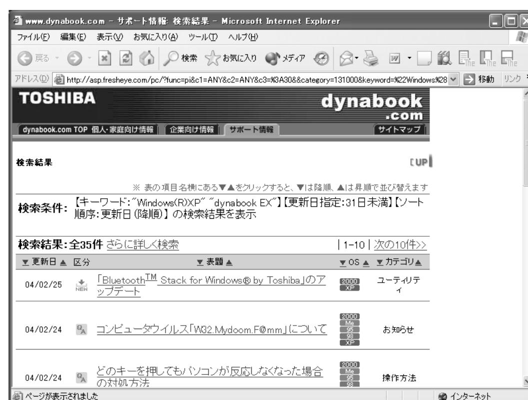
各項目をクリックして、情報を確認してください。キーワードや文章を入力して検索したり、メールで質問を寄せていただくこともできます。

＊このページは、「Internet Explorer」を起動すると、最初に表示されるように設定されています（購入時の状態）。

2 表示する情報の期間を選択をする

新着情報を確認したいときは［新着］をチェックします。期間を指定したいときは［期間］をチェックし、日数を指定します。



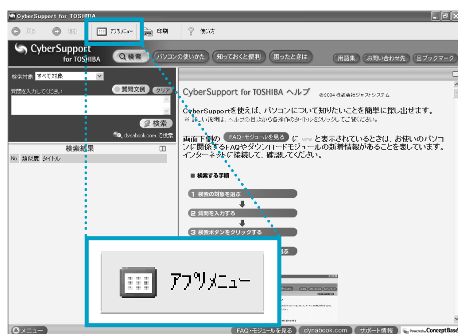


情報が表示されました。

やりたいことからアプリケーションを探して起動する

サイバーサポートの「アプリメニュー」を利用すると、用途別に分類されている項目の中から、使いたいアプリケーションを直接起動できます。ここでは、「音楽を聴きたい」という目的で「BeatJam」を起動する方法を説明します。

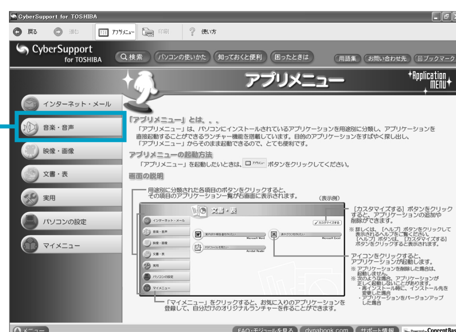
1 サイバーサポートの［アプリメニュー］ボタンをクリックする



［スタート］→［アプリメニュー］をクリックしても、アプリメニューの画面を表示することができます。

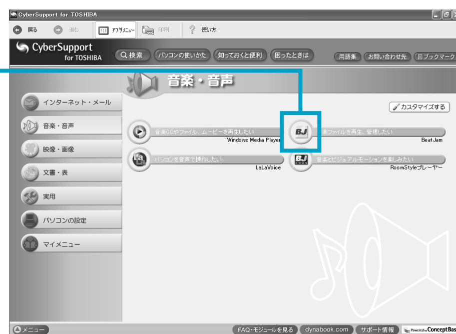
2 やりたいことに関係する分類の項目をクリックする

ここでは［音楽・音声］をクリックします。



3 起動したいアプリケーションのアイコンをクリックする

ここでは［BeatJam］のアイコンをクリックします。





「BeatJam」が起動しました。

【「CyberSupport for TOSHIBA」の問い合わせ先】

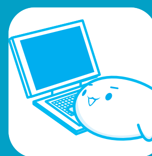
東芝（東芝PCダイヤル）

ナビダイヤル　：0570-00-3100（サポート無料）
受付時間　　　：9:00～19:00（年中無休）
システムメンテナンスのため、サポートを休止させていただく場合がございます。

お客様からの電話は全国6箇所（千葉市、大阪市、名古屋市、福岡市、仙台市、札幌市）の最寄りの拠点に自動的に接続されます。
拠点までの電話料金は有料となります。また海外からの電話、携帯電話などで左記電話番号に接続できないお客様は、043-298-8780までご連絡ください。

パソコンの基本操作を学習する

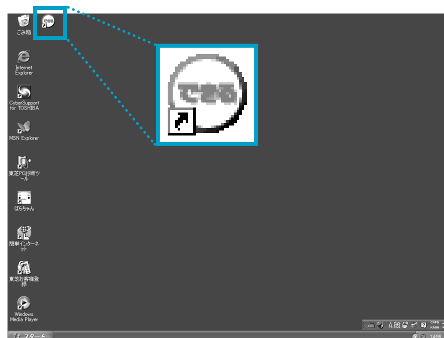
できるdynabook（ダイナブック）



パソコンの基本操作を学習するには、「できるdynabook」を使います。Windows、インターネット、メールの基本操作について、レッスンごとに紹介されており、パソコンの画面上で学習することができます。

「できるdynabook」を操作する

1 ［できるdynabook］アイコンをダブルクリックする



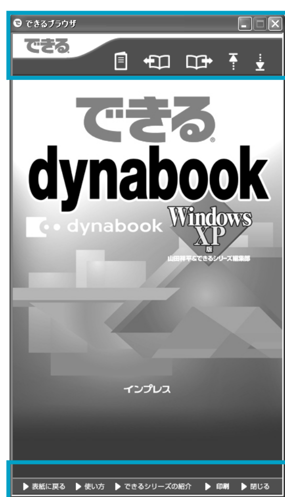


メモ

「できるdynabook」は常に最前面に表示されるように設定されています。［最小化］ボタンをクリックすると、画面右下の通知領域にアイコンを残して表示が消えます。元の大きさに表示を戻すときは、通知領域のアイコンをクリックしてください。



2 起動する



戻る
1レッスン前へ戻ります。

進む
1レッスン先へ進みます。

目次
左側に目次を開きます。

上へ
1手順上へ戻ります。

最小化
「できるdynabook」画面を最小化します。

下へ
1手順下へ進みます。

閉じる
「できるdynabook」を終了します。

使い方
左側に「できるdynabook」のヘルプを開きます。

印刷
表示されているページを印刷します。

【「できるdynabook」の問い合わせ先】

東芝（東芝PCダイヤル）

ナビダイヤル：0570-00-3100（サポート無料）
受付時間　：9:00～19:00（年中無休）
システムメンテナンスのため、サポートを休止させていただく場合がございます。

お客様からの電話は全国6箇所（千葉市、大阪市、名古屋市、福岡市、仙台市、札幌市）の最寄りの拠点に自動的に接続されます。
拠点までの電話料金は有料となります。また海外からの電話、携帯電話などで左記電話番号に接続できないお客様は、043-298-8780までご連絡ください。

プロバイダの問い合わせ先



＊2004年5月現在の情報です。各社の事情で、電話番号、受付時間、ホームページのアドレスなどが異なることがあります。

「簡単インターネット」から契約できるプロバイダの問い合わせ先は、次のとおりです。

AOL

AOLジャパン株式会社 AOLメンバーサポートセンター

TEL：0120-275-265
＊携帯電話、PHSの場合：03-5331-7400
受付時間：9:00～21:00（年中無休）
FAX：0120-379-930（自動案内）
E-mail：aoljapanms@aol.com

@nifty

@niftyブロードバンド導入ご相談窓口

TEL：0120-816-042（フリーダイヤル）
＊携帯電話／PHS／海外の場合：03-5753-2374
（電話料金はお客様ご負担となります。）
お問い合わせの際は、電話番号をよくお確かめください。
受付時間：毎日9:00～21:00
＊ビルの電源工事などによりお休みさせていただく場合があります。
E-mail：https://www.nifty.com/support/madoguchi/form_join.htm
ホームページ：http://www.nifty.com/support/madoguchi/

BIGLOBE

NEC BIGLOBEカスタマーサポート

インフォメーションデスク
TEL：0120-86-0962（9:00～22:00 365日受付）
携帯電話、PHS、CATV電話のかたはこちらへ：03-3947-0962
＊電話番号は、おかけ間違いのないようお願いします。
ホームページ：http://support.biglobe.ne.jp/

DION

KDDIカスタマーサービスセンター

●サービス内容に関するお問合わせ
TEL：0077-7192（無料／9:00～21:00／土・日・祝日も受付中）

●接続・設定に関するお問合わせ
TEL：0077-7084（無料／24時間受付／土・日・祝日も受付中）

メールでのお問い合わせはホームページから：http://cs119.kddi.com/dion/

infoPepper

東芝情報システム株式会社　infoPepperインターネットサービスサポート窓口

TEL：044-201-0450
受付時間：10:00～12:00、13:00～17:00（当社休業日を除く月曜～金曜）
FAX：044-246-1131
FAX・音声情報サービス：044-201-0449（24時間受付）
E-mail：support@staff.pep.ne.jp
ホームページ：http://www.pep.ne.jp/

OCN

●OCNサービスの入会に関するご相談

OCNヘルプデスク

TEL　　　　：0120-047-359
受付時間　　：9:00～21:00（月～金）
　　　　　　　9:00～17:00（土・日・祝）※年末、年始を除く

●OCNサービスご契約者専用お問い合わせ先

OCNカスタマサポート

TEL　　　　：0120-047-860
FAX　　　　：0120-047-861
受付時間　　：9:00～21:00（月～金）
　　　　　　　9:00～17:00（土・日・祝日）※年末、年始を除く
E-mail　　　：support@ocn.ad.jp
ホームページ　：http://www.ocn.ne.jp/

ODN

ODNサポートセンター

●ODNサービスに関するお問い合わせ

ダイヤルアップコース
TEL　　　　：0088-86（無料）
受付時間　　：24時間自動受付（自動音声サービス　※9:00～18:00はオペレーター受付も可能）

快適ブロードバンドコース
TEL　　　　：0088-222-375（無料）
受付時間　　：24時間自動受付（自動音声サービス　※9:00～18:00はオペレーター受付も可能）

●接続に関するお問い合わせ

ダイヤルアップコース
TEL　　　　：0088-85（無料）
受付時間　　：24時間自動受付（自動音声サービス　※9:00～18:00はオペレーター受付も可能）

快適ブロードバンドコース
TEL　　　　：0088-228-325（無料）
受付時間　　：24時間自動受付（自動音声サービス　※9:00～18:00はオペレーター受付も可能）

●E-mail・FAXによるお問い合わせ

E-mail　　　：odn-support@odn.ad.jp（サービス案内）
　　　　　　　tech-support@odn.ad.jp（接続サポート）
　　　　　　　info-adsl@odn.ad.jp（ブロードバンドお問い合わせ）
ODN FAX BOX：0088-218-586（無料）

POINT［POWERED INTERNET］

POINTコールセンター

TEL　　　　：0081-1588（無料）
　　　　　　　0120-719-033（無料）
　　　　　　　携帯電話／PHSからは03-4316-4050（有料）
受付時間　　：10:00～21:00（平日）　10:00～18:00（土日祝）
E-mail　　　：http://www.poweredcom.net/dataqa/
ホームページ　：http://www.point.ne.jp/

かるがるネット

かるがるネットサポートセンター

TEL　　　　：03-3537-1325
受付時間　　：10:00～18:30（土・日・祝日を除く）
FAX　　　　：03-3537-1326
E-mail　　　：osada@icommjapan.co.jp
ホームページ　：http://www.karugaru.net/

アプリケーションの問い合わせ先



＊2004年5月現在の情報です。各社の事情で、電話番号、受付時間、ホームページのアドレスなどが異なることがあります。

各アプリケーションのユーザ登録については、それぞれの問い合わせ先まで問い合わせてください。

Norton Internet Security

●技術的なお問い合わせ

シマンテック コンシューマ テクニカルサポートセンター

本センターをご利用頂くためには、ユーザー登録が必要です。また、ご利用期間は登録日から90日間となります。
期間経過後のご利用は、パッケージ製品、もしくは有償サポートチケットの購入をご検討ください。
＊テクニカルサポートセンターの連絡先は、ご登録された電子メールアドレス宛に通知いたします。
また、本センターご利用の際には、ユーザ登録後に発行される『カスタマーID』をご提示ください。

ユーザー登録

ホームページ　：http://www.symantec.com/region/jp/techsupp/regist/oem/toshiba/

●ユーザー登録およびご購入前の一般的なご質問に関するお問い合わせ

カスタマーサービスセンター

営業時間　：10:00〜17:00（祝祭日を除く月〜金）
TEL　：0570-054115（ナビダイヤル）
FAX　：0570-054116（ナビダイヤル）

＊ナビダイヤルがご利用できない場合、次の番号をご利用ください。
TEL　：03-5458-4730
FAX　：03-5458-4762

●期限切れによる更新サービスの延長申し込みに関するお問い合わせ

シマンテックストア

ホームページ　：http://www.symantec.com/region/jp/techsupp/regist/oem/toshiba/
営業時間　：10:00〜17:00（祝祭日を除く月〜金）
TEL　：0570-005557（ナビダイヤル）
FAX　：0570-005558（ナビダイヤル）

＊ナビダイヤルがご利用できない場合、次の番号をご利用ください。
TEL　：03-3476-1192
FAX　：03-5836-3871

筆ぐるめ

富士ソフトABC株式会社　インフォメーションセンター

TEL　：03-5600-2551
FAX　：03-3634-1322
受付時間　：9:30〜12:00、13:00〜17:00（土・日・祝祭日・会社休業日を除く）
ただし、11/1〜12/30の間は無休サポート
（受付時間：9：30〜17：00　12/30のみ12:00まで）
E-mail　：users@fsi.co.jp
ホームページ　：http://www.fsi.co.jp/product/
※電話がつながりにくい場合は、E-mail、FAXをご利用いただくことをおすすめします。
※マニュアルが必要な場合、オーム社から発行されている「筆ぐるめ　操作マニュアル」を書店でお求めください。

●マニュアル購入に関するお問い合わせ先

株式会社オーム社　販売課　TEL：03-3233-0643　FAX：03-3293-6224

The翻訳インターネット

The翻訳サポートセンタ
TEL　：0120-1048-37（フリーダイヤル）
＊携帯電話、PHSをご利用の場合：03-5465-7290
受付時間　：10:00～12:00、13:00～17:00（土・日・祝日ならびに本サポートセンタ臨時休業日を除く）
E-mail　：honyaku@toshiba-sol.co.jp
ホームページ　：http://hon-yaku.toshiba-sol.co.jp/
※「The翻訳インターネット」は、AOL専用ブラウザおよびメールソフトに連携させることはできません。

プロアトラス W2 for TOSHIBA

株式会社アルプス社　お客さま相談センター
TEL　：03-5319-3719
受付時間　：10:00～17:00（土・日・祝祭日、休業日を除く）
FAX　：03-5319-3720（24時間受付）
E-mail　：support@alpsmap.co.jp
製品情報サイト　：http://www.alpsmap.co.jp/

駅すぱあと

株式会社ヴァル研究所　ユーザーサポートセンター
TEL　：03-5373-3522
受付時間　：10:00～12:00、13:00～17:00（土・日・祝日を除く）
FAX　：03-5373-3523
E-mail　：support@val.co.jp
＊ユーザー登録されたお客様が対象となります。
ホームページ　：http://ekiworld.net/

フレッツADSL

<登録に関するお問い合わせ>
東芝ヘルプデスクセンター
TEL　：043-278-7522
受付時間　：9:00～17:00（土・日・祝祭日・年末年始および弊社特別休日を除く）

Yahoo! BB

Yahoo! BB カスタマーサポートセンター
TEL　：0120-919-820
携帯電話・PHS　：03-6688-5001（東京）通話料金はお客様負担となります。
受付時間　：24時間（年中無休／施設点検日およびメンテナンス日は休業）
＊23時から翌朝9時までの時間は、モデムの故障やネットワーク障害についてのお問い合わせのみ受け付けております。
E-mail　：help@ybb-support.jp
ホームページ　：http://bb.yahoo.co.jp

cocoa

NTTコミュニケーションズ カスタマーズフロント
TEL　：0120-506506
受付時間　：午前9時～午後9時：無休（年末年始を除きます）
ホームページ　：http://coden.ntt.com/

ekitanExpress Online

ekitanExpress Onlineお問い合せ窓口
電子メールでのみ受け付けております。
受付時間　：24時間
※Webmasterからの返信は、基本的に平日（10:00～18:00）の対応とさせていただいております。
また、内容により返信できない場合、回答に日数を要する場合もありますので、あらかじめご了承ください。
E-mail　：express-support@ekitan.com
ホームページ　：http://express.ekitan.com/

ホームページミックス /R.2／マイペンシル /R.2

●ユーザー登録に関するお問い合わせ
ユーザー登録ご相談窓口
TEL：東京　03-5412-2624
大阪　06-6886-2624
受付時間：平日10:00～19:00、土・日・祝日10:00～17:00
＊特別休業日を除く
ホームページ：http://www.justsystem.co.jp/service/

●製品の使い方に関するお問い合わせ
ジャストシステムサポートセンター
＊サポートセンターへお問い合わせの際には、お客様のUser IDおよび製品のシリアルナンバーが必要です。
TEL：東京　03-5412-3980
大阪　06-6886-7160
受付時間：平日10:00～19:00、土・日・祝日10:00～17:00
＊特別休業日を除く
ホームページ：http://support.justsystem.co.jp/

Ulead Video ToolBox

ユーリード　テクニカルサポート
●E-mailによるお問い合わせ
ホームページ：http://www.ulead.co.jp/tech/tech.htm
上記ページではよくあるご質問（FAQ）ページを随時更新しております。まずはこちらをご確認ください。
それでも解決しない場合は、上記ページに用意されております「お問い合わせフォーム」をご利用のうえ、お問い合わせください。

●電話によるお問い合わせ
電話番号：03-5491-5662
受付時間：平日10:00～12:00、13:00～17:00
＊土曜、日曜、祝祭日、年末・年始はお休みです。
＊新製品発売後や時期によってはお電話がつながりにくくなります。より素早い問題解決のためにも、是非上記FAQページをご参照ください。

＜ユーザ登録について＞
お客様へのより素早く質の高いサポートをさせていただくため、ご利用製品のユーザ登録をお願いしております。
ユーザ登録はホームページより行うことができます。
下記ホームページアドレスより［登録］-［Ulead製品のユーザー登録］を選択して登録を行ってください。
ホームページ：http://www.ulead.co.jp/

ゼンリンデジタル全国地図

ゼンリンデータコム　お客様相談室
e-mail：itsmo_navi@zenrin-datacom.net
フリーダイヤル：0120-210-616
受付時間：10:00～17:00 月～金曜日（祝祭日・サポート窓口指定休日は除く）
※お問い合わせの際には、東芝製パソコンでのプレインストール版である旨お伝えください 。

DLA

ソニックサポートセンター
TEL：03-5232-6400
受付時間：10:00～12:00、13:00～17:00
（土・日・祝祭日・年末年始を除く）
お問い合わせは、ソニック・ソルーションズのサポートページのサポートフォームより質問内容をお送りください。
ホームページ：http://www.sonicjapan.co.jp/support/index.html
ユーザー登録は以下のページで行ってください。
ホームページ：http://www.sonicjapan.co.jp/register/register.html

・本書の内容は、改善のため予告なしに変更することがあります。
・本書の内容の一部または全部を、無断で転載することは禁止されています。
・落丁、乱丁本は、お取り替えいたします。
東芝PCダイヤルにお問い合わせください。

dynabook 図解で読むマニュアル

平成16年4月6日　第1版発行　GX1C00045110

発行　株式会社東芝 PC＆ネットワーク社

PC第一事業部　〒105-8001　東京都港区芝浦1-1-1



この冊子は植物性大豆油インキを使用しております。
この冊子は再生紙を使用しております。



東芝PC総合情報サイト
http://dynabook.com/

株式会社 **東芝**
PC＆ネットワーク社　PC第一事業部
〒105-8001　東京都港区芝浦1-1-1

GX1C00045110
PRINTED IN TAIWAN